

 PreSonus®

NOTION

■ ■ ■ ■ ■ MOBILE

ユーザーガイド



目次

目次	i
はじめに	1
クイックスタート	2
さらに充実	2
Studio One+とは	3
こちらからクイックスタートチュートリアルをご覧ください。	4
インストールとアクティベーション	4
App StoreからNotion Mobileをインストールする	4
アップデート	4
ウェルカムページ	5
サウンドのインストール	6
ウェルカムパック	6
Studio One+でアンロック/アプリ内課金	7
my.presonusアカウントは削除可能ですか?	7
購入を復元	7
言語を選択する	7
スタートページ	8
こちらからクイックスタートチュートリアルをご覧ください。	9
スコアセット アップ	9
新規スコアを作成する	9
レイアウト 設定	14
表示オプション	14
レイアウトコントロール	15
間隔をリセット	16
カスタマイズビュー	17
移動/ズーム	18
こちらからクイックスタートチュートリアルをご覧ください。	19
音符を入力する	19
ステップ入力	21
リアルタイム録音	22
手書き入力	23
こちらからクイックスタートチュートリアルをご覧ください。	26
音符を選択および編集する	26
選択する	26
選択範囲のピッチを変更する	27
コピー&ペースト、その他	27
コンテキストメニュー	29
ツールグリッドを使用する	32
こちらからクイックスタートチュートリアルをご覧ください。	35
再生	35
コード記号の再生	36
タレットに設定	36
スウィング	36
ミキサー	37
オーディオデバイス	37
スコアの保存、印刷、エクスポート	38
保存	38
印刷	38
エクスポート	38
キーボードショートカット	40
サウンド一覧	45
サウンドセット名/内容	45
Acknowledgements	49

はじめに



Notion™ Mobileをダウンロードしていただきありがとうございます。Notion Mobile 3.3ユーザーガイドへようこそ! このガイドをPDFドキュメントでご覧になるにはこちらからダウンロードしてください。<https://presonus.com/products/Notion-Mobile/downloads>


10年以上にわたってiOS App Storeで提供されてきたNotion iOSはNotion Mobileとして生まれ変わり、新しいプラットフォーム、新しいデバイス、そして新しい機会が追加されています。iOS(iPhoneとiPad)、Android(電話、タブレット、Chromebook)、Windows(タブレット、Surface、コンピューター)、macOSを実行するあらゆるデバイスでいつでも作曲できるようになりました。Notion Mobileは、主要なアプリケーションストア (Google Play Store、Apple iOSおよびmacOS App Store、Amazon App Store、Samsung Galaxy Store、Microsoft Store) から入手可能です。



Notion Mobileは、Notion iOS、Notion Desktop(macOS、Windows) で作成されたNotionファイルと完全互換しています。新しいネットワーク転送機能(オプションのFeature Bundleの一部)により、Notion Mobile、Notion 6 Desktop、またはStudio One 6を実行している同一ネットワーク上のあらゆるデバイス(プラットフォームに関係なく) 間でスコアを直接転送することも可能です。

クイックスタート

YouTubeの[クイックスタートチュートリアル](#)シリーズをご覧ください。









Notion Mobile

PreSonus Audio Electronics
8 videos 3,596 views Last updated on Oct 18, 2022

Play all Shuffle

Notion Mobile is a free, industry-leading music composition tool for iOS, iPadOS®, MacOS®, Android™, Windows®, Chrome OS™, and Fire OS mobile devices. You'll effortlessly create dynamic compositions in traditional musical notation or tablature with its intuitive touch-based interface and incredibly broad editing capabilities.

- **Notion@ Mobile: FREE on-the-go music creation and notation application**
PreSonus Audio Electronics • 5.3K views • 3 months ago
- **Introducing Notion Mobile**
PreSonus Audio Electronics • 6.3K views • 3 months ago
- **Notion Mobile New Features Overview**
PreSonus Audio Electronics • 7.5K views • 3 months ago
- **Notion Mobile Quick Start Lesson 1: Getting the App**
PreSonus Audio Electronics • 2.5K views • 3 months ago
- **Notion Mobile Quick Start Lesson 2: Score Setup and Note Entry**
PreSonus Audio Electronics • 4.6K views • 3 months ago
- **Notion Mobile Quick Start Lesson 3: Playback**
PreSonus Audio Electronics • 1.9K views • 3 months ago

さらに充実

Notion Mobileでは、いずれかのプラットフォーム上でFeature Bundleを購入するか、Studio One+にメンバーシップ登録することで、より多くの機能とサウンドをアンロックできます。



Notion 6 DesktopはPreSonusのフラッグシップ楽譜制作アプリケーション製品で、より多くの記譜機能、レイアウト制御、サードパーティ製VST音源とエフェクトのサポート、ライブパフォーマンスモード、ビデオウィンドウ、シーケンサー譜表、スコアライブラリ、より深遠なサウンドライブラリその他を備えています。macOSとWindowsで購入するか、Studio One+メンバーシップの一部として利用できます。

- [Notion Desktopについてさらに詳しく](#)

Studio One+とは

Studio One+



Studio One+は作曲家のための究極のツールキットで、PreSonusのフラッグシップDAW(デジタルオーディオワークステーション)のStudio One Professional、macOS/Windows用のNotion Desktop、多数のアドオンサウンドやコンテンツ、コミュニティコラボレーション機能、専用のトレーニングビデオなどが含まれています。

- [Studio One+について詳しくはこちらをご参照ください。](#)

PreSonusでは、継続的な製品の機能向上に努めており、お客様のご意見を尊重しています。継続的な向上という目的を達成するには、「本当の専門家」である大切なユーザーの方々の声を聞くのが一番であると信じています。本製品のご購入を通じたご支援に深く感謝いたします。

こちらから[クイックスタートチュートリアル](#)をご覧ください。



インストールとアクティベーション

App StoreからNotion Mobileをインストールする

Notion Mobileをご使用の端末にインストールするには、次のリンクを開くか、ご使用の端末の各アプリストアにログインします。

- iOSデバイス: [Apple App Store](#)
- macOSデバイス: [Apple Mac App Store](#)
- Windowsデバイス: [Microsoft Store](#)
- Androidデバイス: [Google Play Store](#)またはSamsung Galaxy Store
- Amazonデバイス: [Amazon App Store](#)

デバイスのアプリストアを開いたら、「Notion Music」を検索します。

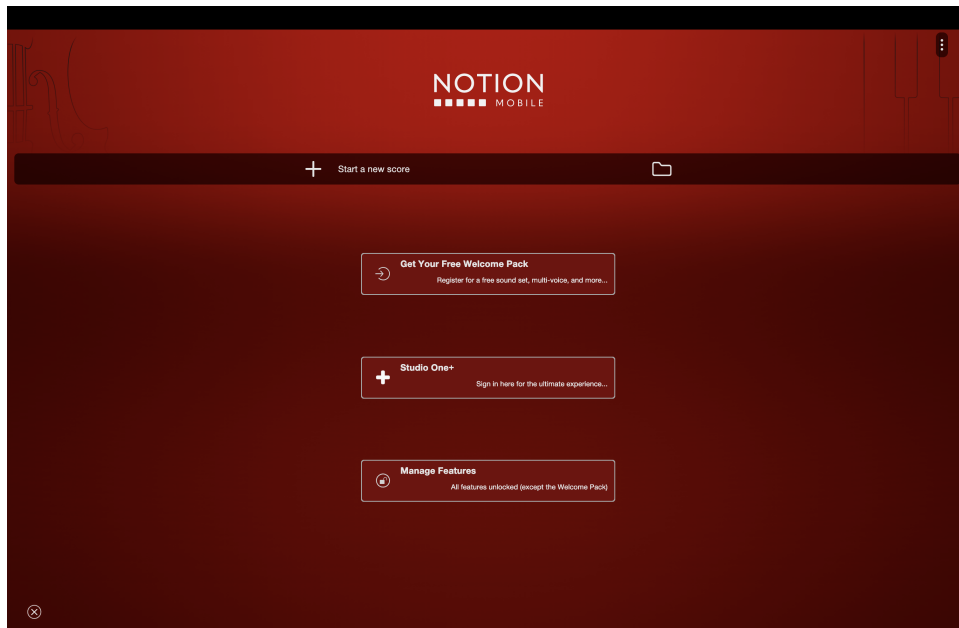
検索結果からNotion Mobileアプリ(およびアイコン)を探し、[手]または[インストール]をタップします。

デバイスの容量を節約するため、初回ダウンロード時にはスタインウェイピアノのサウンドだけが追加ダウンロードされます。残りのサウンドは、後から希望に応じて追加および削除できます(下の「サウンドをインストールする」参照)。

アップデート

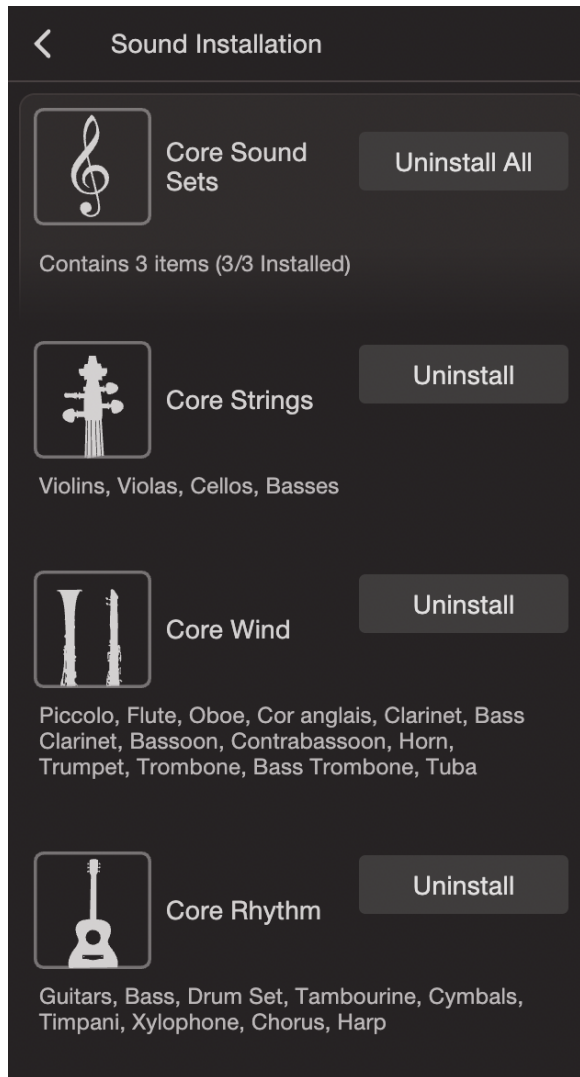
Notion Mobileのアップデートは、それぞれのアプリストア経由で処理されます。アップデートをダウンロードするには、お客様のアカウントにアクセスしてアプリストア内でNotion Mobileを再度検索します。または、アップデートがある場合に自動的にアップデートするようアプリを設定します。この設定は、通常、アプリストアで確認できます。

ウェルカムページ



起動すると、Notion Mobileにウェルカムページが表示されます。「+」ボタンを押すか、付属のデモスコアのいずれかを試すことで、すぐにスコアを作成できます。または、アプリ内課金で購入するか、Studio One+メンバーシップにサインインして、Notion Mobileのすべてのオプション機能とサウンドをアンロックします。

サウンドのインストール



Notion Mobileには、特別に録音されたサンプルインストゥルメントがバンドルされています。これらをインストールするには、アプリケーションメニューの「サウンドのインストール」を開きます。利用可能な主要サウンドをインストールすることも、必要な主要サウンドセットだけをインストールすることも可能です。また、スコア設定メニューからサウンドセットをインストールすることもできます。ダウンロードアイコンをクリックするだけで簡単です。デバイスの空き容量を確保したい場合、このメニューからサウンドセットを削除することもできます。

拡張サウンドをアンロックするには、提供されるリンクからアプリ内課金を行う(1回のみ)か、Studio One+メンバーシップでサインインします。(下参照)

「ウェルカムパック」サウンドセットは、my.presonus.comでNotionを登録すると特典として入手できます。Notionの登録は無料で行えます。(下参照)

ウェルカムパック

ウェルカムパック(専用サウンドセット、マルチボイス入力、Notionフォーラムへのアクセスなどが付属)を受け取るには、PreSonusにアプリを登録する必要があります(登録は無料)。

ウェルカムページのボタンをクリックするか、アプリケーションメニュー> [アカウント]> [登録]に進みます。その後、My.PreSonusアカウントにサインインするか、まだアカウントをお持ちでない場合はリンクをクリックしてアカウントを作成します(無料)。

Studio One+でアンロック/アプリ内課金

オプション機能やコンテンツをアンロックするには、Notionを利用する各プラットフォーム(Android、Windows、macOS、iOSなど)でアプリ内課金を行うか、Studio One+メンバーシップでサインインする必要があります。

ここでは、手書き認識機能、レイアウトコントロール、デバイス間でスコアを共有するためのネットワーク転送、拡張サウンドセットすべて、今後登場するエキサイティングな新機能が含まれます。

my.presonusアカウントは削除可能ですか?

はい、可能です。すべてのデータをダウンロードし、my.presonusアカウントを完全に削除することができます。この場合、お客様のアカウントは削除され、登録済みのハードウェアおよびソフトウェアのプロダクトキーも復元不可能な形で削除されますのでご注意ください。[詳しくはこちらをご参照ください。](#)

購入を復元

オプションのアプリ内課金を行ったのに、以前にアンロックした機能やサウンドが表示されない場合、アプリの購入状態を更新する必要があるかもしれません。

- まず、購入時と同じアカウントでデバイスにサインインしていることを確認します(これがこの問題が発生する1番の原因です)。
- 次に、現在使用しているプラットフォームで購入されていることを確認します。アプリ内課金はプラットフォーム毎に行う必要がありますのでご注意ください(つまり、Androidで行ったアプリ内課金はApple iOSに引き継がれません)。
- 最後に、アプリケーションメニュー> 機能を管理]で 購入を復元]をタップします。

言語を選択する

Notionがどの言語で表示されるかは、一般に、ご使用のデバイスが設定されている言語によって決まります。プラットフォームによっては、アプリレベルでこれを変更できます。アプリケーションメニュー> 言語]から変更できます。

「+」ボタンをクリックして新規スコアを開始するには[こちらをクリック](#)します。

スタートページ

Notion Mobileのスタートページでは、最近開いたファイルにすばやくアクセスできます。この「最近使ったファイル」リストからは、ファイルを削除することもできます。編集ボタンを押してから選択して削除します。

プラットフォームによっては、ファイル名を右クリックして「最近使ったファイル」リストから削除したり、ファイルの保存場所を開いたりもできます。

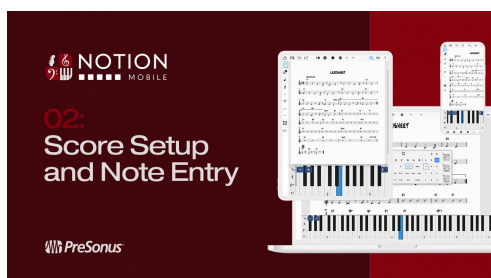
リストからファイルを探すには、検索アイコンをタップし、一致するファイルが見つかるまでタイプ入力します。

既存のNotionファイルを開く、または、MIDI/MusicXML/MXLファイルを読み込むには、ファイルブラウザーボタンをタップします。システムのブラウザーが開き、目的のドキュメントの場所に移動できます。Notionでは、ファイルを開くかインポートした後、変更内容は元の場所またはその場で保存されます。つまり、ファイルが別の場所に移動することはありません。

スタートページの右上にあるアプリケーションメニューから、Notionのグローバルオプションにアクセスできます。これには次が含まれます。

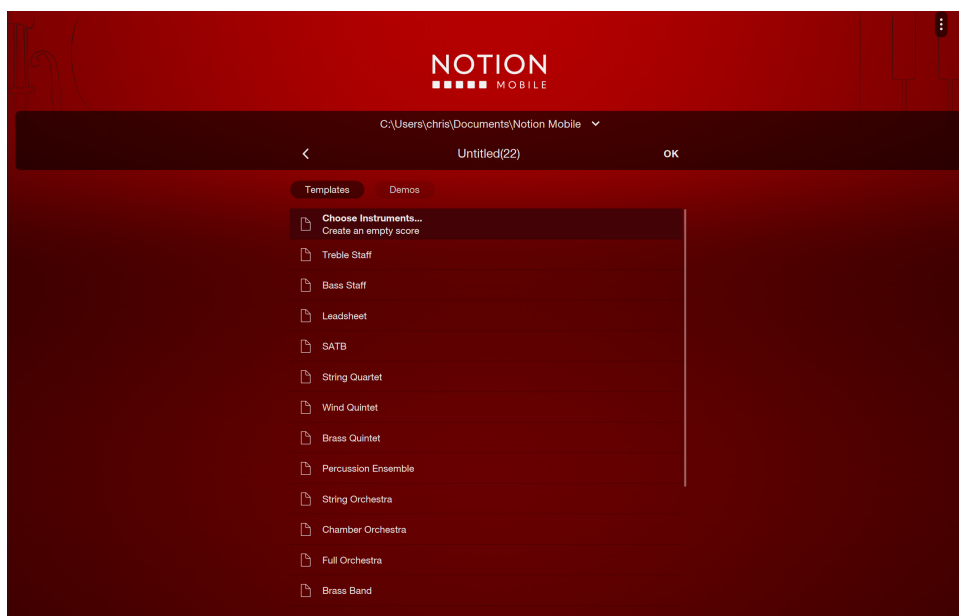
- **オーディオ設定オプション:** サンプルレートとオーディオデバイス選択が含まれます。[オーディオデバイスの設定](#)について詳しくは「再生」の章をご参照ください。
- **アピアランスオプション:** ダークライト、アイコンサイズ、パレットサイズと位置が含まれます。詳しくは「[レイアウト設定](#)」の章をご参照ください。
- **編集オプション:** 対応スタイラス使用時の自動モード切替、入力時の音符試聴が含まれます。詳しくは、「[音符を選択および入力する](#)」の章をご参照ください。
- **ネットワークオプション:** サンプルレート、オーディオデバイス選択など、NotionとStudio Oneのドキュメントがネットワークオーディオオプションを送受信できるようになります。詳しくは「[スコアのエクスポートと印刷](#)」の章をご参照ください。
- **サウンドのインストール:** 付属の主要サウンドセットのダウンロードや削除を管理したり、オプションの拡張サウンドセットをダウンロードしたりできます。詳しくは「[インストールとアクティベーション](#)」の章をご参照ください。
- **機能を管理:** PreSonusに登録してウェルカムパックを入手したり、Studio One+メンバーシップにサインインして全機能とコンテンツをアンロックしたりできます。詳しくは「[インストールとアクティベーション](#)」の章をご参照ください。
- **言語:** アプリケーションの言語を変更できます。
- **情報:** 現在のバージョン番号が表示されます。

こちらから[クイックスタートチュートリアル](#)をご覧ください。



スコアセットアップ

新規スコアを作成する



新規スコアを作成するには、スタートページの「+」アイコンをタップします。

ファイル名を入力する画面が表示されます。

- ここで必ずしも何かを入力する必要はありません。入力しない場合「Untitled」が使用されます。
- 最初に設定されたファイル名は、スコアのタイトルとしても表示されます。
- タイトルは、ダブルタップして必要に応じて後でそれぞれ編集できます。
- タイトルを変更してもファイル名は変わりません(逆に、後でファイル名を変更してもタイトルには影響しません)。

ファイル名の上には、新規ファイルの保存場所が表示されます。下矢印をタップすると、さらに多くのオプションが表示されます。

- **選択...**: デバイスのファイルブラウザーが表示されます。ファイルを保存したい場所に移動できます。プラットフォームによっては、新規スコアに対してすべてのクラウドロケーションを利用することができません。ただし、スコアを作成後に移動し、そのクラウドロケーションから開くことができます。
- **デフォルトを選択**: ご使用のプラットフォーム上のNotionスコア用のデフォルトの場所が選択されます。

インストゥルメントを選択...: これはデフォルトで選択されており、[OK]をタップするとインストゥルメントセクターが開きます。ただし、テンプレートスコアを使用することも可能です。

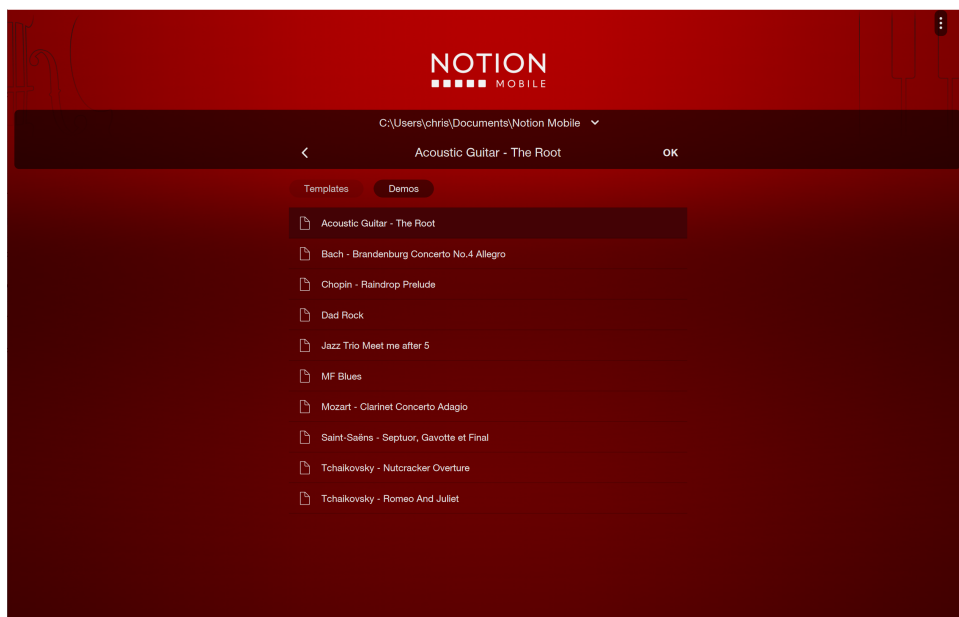
テンプレートスコアを使用する

- ファイル名を入力してもキーボードが表示される場合、キーボードを隠してテンプレートの一覧を表示することができます。
- 希望のテンプレートを選択します。
- 右上の [OK] をタップします。
- このリストに独自のテンプレートを追加することもできます。 [スコアの保存](#)、[印刷](#)、[エクスポート](#)

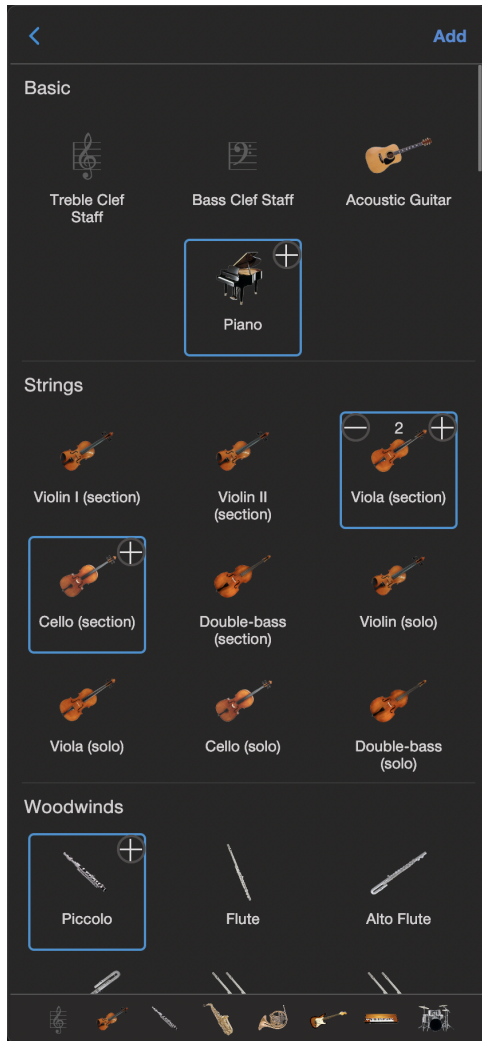
デモスコアを開く

スタートページの [] アイコンをタップすると、[テンプレート] に並んで [デモ] タブが表示されます。

タップすると、付属のデモスコアのリストが表示されます。いずれかを選択して開くと演奏が開始されます。デモスコアに変更を加えると、デフォルトの保存フォルダー内にコピーが自動作成され、スタートページの [最近使用] リストに追加されます。(元のデモスコアは変更されません。)



インストゥルメントを追加

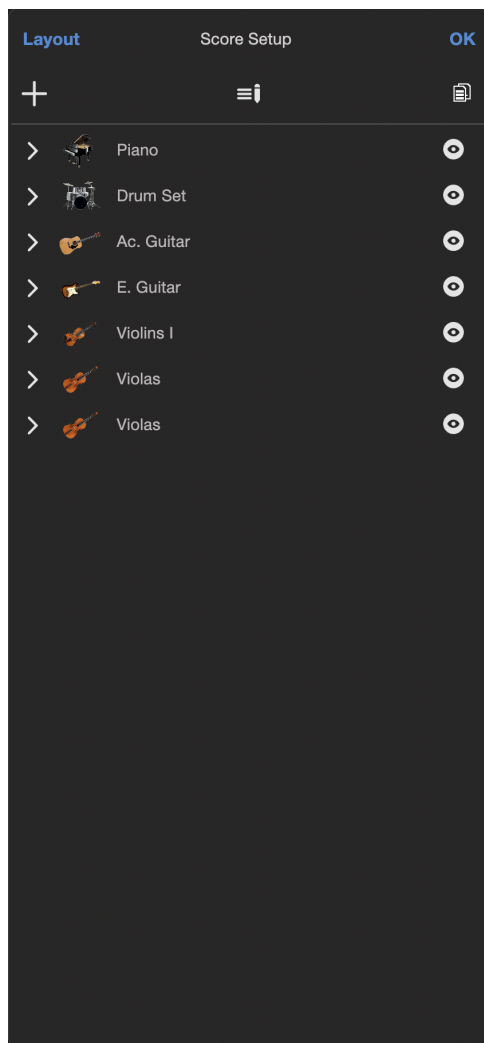


[OK]をクリックして [インストゥルメントを追加] を選択すると、スコアが開き、インストゥルメントセレクターが自動で表示されます。

- リストは上下にスクロールできます。また、このセレクター下のインストゥルメントファミリーのショートカットアイコン(固定列)を使用してジャンプすることもできます。
- インストゥルメントをタップして選択します。もう一度タップすると選択が解除されます。
- インストゥルメントを複数選択するには、インストゥルメントの隅にあるプラスアイコンをタップします。
- 完了したら、右上隅の [追加] をタップします。

選択したインストゥルメントがスコアに追加されます。スコアセットアップウィンドウが表示されます。ここでは、インストゥルメントのさまざまな側面と順序を変更できます(下参照)。問題なければ、右上隅の [OK] をタップします。または、ウィンドウの外をタップしてキャンセルします。

インストゥルメントの追加と編集



スコアセットアップウィンドウで、さらにインストゥルメントを追加したい場合、「+」(プラス)アイコンをタップします。これで、インストゥルメントセレクトアワーが再び開きます。

インストゥルメントを削除するには、**編集**アイコンをタップします。インストゥルメントをタップして選択したら、**削除**をタップします。インストゥルメントの並び順を変更するには、右の三本線アイコンを使用してインストゥルメントをドラッグし、好きな順番に並べます。

スコアセットアップの右側にあるのは**スコアパート**グループで、これでフルスコアまたは各パートのいずれかの表示に切り替えることができます。パート表示では、各インストゥルメントの横にある目のアイコンを使用して現在表示されているパートを切り替えます。フルスコア表示では、目のアイコンはフルスコア内のパートの表示/非表示の切り替えに使用します。

選択したインストゥルメントのサウンドサンプルパックがインストールされていない場合、青丸のダウンロードアイコンが表示されますので、タップして含まれるサウンドセットをダウンロードします。そのインストゥルメント用に作曲するのにサウンドをダウンロード/購入する必要はありません。サウンドがない場合、デフォルトでピアノのサウンドが使用されます。

インストゥルメント設定

スコアセットアップウィンドウで、選択したインストゥルメントの左にある矢印をタップすると、さらに多くの設定項目が表示されます。内容は次のとおりです。

- **インストゥルメント**: タップして譜表のインストゥルメントを変更
- **名前**: インストゥルメントのフルネームを変更
- **略名**: 略名を変更
- **譜表タイプ**: インストゥルメントに対して表示される譜表のタイプを選択

- **スタンダード**: 一列の五線譜
- **タブ譜**: 音符の代わりに弦と番号と線で表記されるギタータブ譜
- **標準+タブ譜**: リンクされた2つの譜表。1つに対してインストゥルメント標準譜とタブ譜の両方を表示
- **大譜表**: リンクされた左手と右手を示す2つの譜表
- **ドラムセット**: 打楽器用音部記号の付いた五線譜
- **1線譜**: 単線の譜表
- **タブ譜オプション**: (タブ譜オプションが選択されている場合のみ表示されます)
 - **タブタイプ**: インストゥルメントプリセットとチューニングのセレクションから選択
 - **タブ線**: インストゥルメントのチューニングを表示します。カスタムチューニングの場合はそちらで書き込まれます
 - **タブの丸**: 全音符または半音符を丸で囲んで表示
 - **タブに符尾を表示**: タブ譜のリズム符尾を隠すオプション
- **声部符尾モード**: 1譜表内に声部が複数ある場合、ここで符尾の扱いを設定
 - **上/下に分割**: デフォルト。上側の音は上向きに、下側の音は下向きに
 - **連結符尾**: 2声部が同じリズムの場合、2つの音符を1つの符尾で連結。リズムが違う箇所ではデフォルトの上下分割処理に戻る
 - **小節ごとに分割**: 連結符尾として扱うが、1小節内に例外がある場合、その小節全体に [上/下に分割] が適用される
- **調号を表示**: 各大譜表の最初にある調号が非表示になり、必要に応じて音符に臨時記号が自動で追加されます。これはフレンチホルンで通常使用されます。
- **移調**: (楽音楽器が選択されている場合のみ表示されます) スコアセットアップで移調楽器を選択すると自動設定されます。ただし、Cを弾くときにどの音をどのオクターブで鳴らすかは、手動で選択することも可能です。例: FのフレンチホルンでCの楽譜を吹くと、同じオクターブのFの音になります。BbのテナーサクソでCの楽譜を吹くと、1オクターブ下のBbの音になります。
- **インストゥルメントキーを表示**: (楽音楽器が選択されている場合のみ表示されます) クラリネット Bb/Cl.1 (Bb) など、インストゥルメントのキーを隠す/表示

レイアウト設定

表示オプション

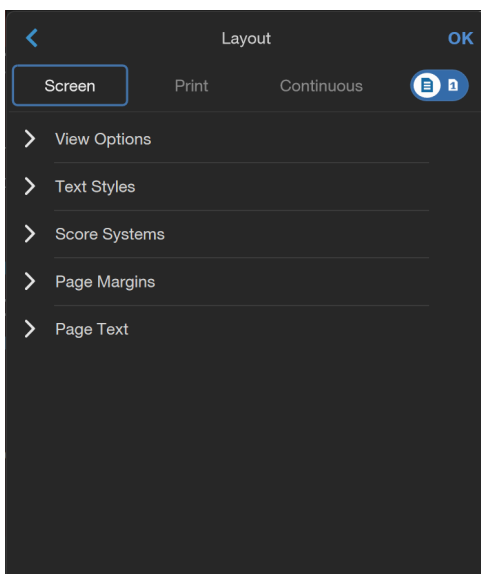
Notion Mobileでは、3種類のビューを切り替えて作曲できます。画面左上の**スコアセットアップ**をタップしてから**レイアウト**をタップします。次に、3つのビューのうち1つを選択し、スコアとパートのどちらを表示するかを選択します。これにより、バックグラウンドでのスコア表示が即時に変更されます。

- **画面**: [F8] ボーダーレス表示で、組段を上下にスクロールできます。
- **印刷**: [F7] 設定されているページサイズに応じて、印刷時のアウトラインを確認できます。キーボードショートカット [F7]を繰り返し押すと、印刷ビューの縦向きと横向きを切り替えられます。
- **連続**: [F6] 連続表示で、左から右にスクロールできます。
- **フルスクリーン/単パート**: [F5] フルスコアと単パートの間で表示を切り替えます。

その下にさまざまな表示オプションが用意されています。これらのオプションは、現在選択されているビューに適用されます。すべてのオプションがすべてのビューに適用されるわけではなく、適用されないオプションは灰色表示になります。

調整したいビュー(画面/印刷/連続/フルスコア/パート譜)をタップすると、オプションが適切に更新されます。

- **表示オプション**



- **記譜ズーム**: 画面ビューのディスプレイサイズを変更
- **記譜フォント**: 標準フォントとジャズフォントの間で切り替え
- **記譜サイズ**: 記譜フォントのサイズを調整
- **用紙フォーマット**: 用紙サイズを変更、カスタムサイズを追加 (cm)
- **向き**: 縦向きと横向きの間で切り替え
- **移調モード**: インストゥルメントを移調キーで表示するか、コンサートチューニング(スコアはC、移調楽器は記載のオクターブで表示)で表示するか、コンサートピッチ(スコアはC、移調楽器は聞こえるオクターブで表示)で表示するかを切り替え
- **キュー音符を印刷**: 印刷時のキュー音符の表示と非表示を選択
- **コード概要**: スコアにコードが含まれている場合、1ページ目の一番下に全コードの概要を自動で表示するかどうかを選択可能
- **カットを隠す**: マークされたカットを折りたたんで非表示にして印刷できるようにする
- **隠されているアイテムを表示**: 隠されているスコア要素(強弱記号など)を表示
- **長休符**: (パート表示のみ)パート内の複数の小節休符を1つの長休符にまとめます。まとめる前に表示されるべき小節休符の最小数を選択
- **範囲外音符を表示**: 指定のインストゥルメントの範囲外の音符が赤に変更されます。印刷時には音符は黒で印字されます

- **声部カラーを表示**: 4声部をそれぞれ異なる色で分かりやすく表示
 - 声部1は標準の黒のまま
 - 声部2は暗い紫
 - 声部3は明るい赤紫
 - 声部4は緑
- **テキストスタイル**: 歌詞テキストの外観を変更します。フォント、スタイル、サイズを選択します。
 - **歌詞**: 歌詞テキストのグローバルな外観を変更します。フォント、スタイル、サイズを選択します。個々の歌詞にカスタムスタイルを設定することも可能です。単語を右クリックして、コンテキストメニューから [テキスト] を選択します。
 - **テキスト**: 歌詞テキストの外観を変更します。フォント、スタイル、サイズを選択します。個々のテキストボックスにカスタムスタイルを設定することも可能です。単語を右クリックして、コンテキストメニューから [テキスト] を選択します。
- **スコア組段**
 - **最初の組段のタイトル**: 組段の最初にインストゥルメント名をフルネームで表示するか、略名で表示するか、何も表示しないかを選択します。
 - **次の組段のタイトル**: 2番目の組段にインストゥルメント名をフルネームで表示するか、略名で表示するか、何も表示しないかを選択します。
 - **譜表間隔**: 譜表間の縦の間隔を調整
 - **組段間隔**: 組段間の縦の間隔を調整
 - **改行マーク**: オプションの組段改行記号(組段間の2本の斜線)の表示または非表示を選択
 - **小節上限**: 各組段に表示される小節数を調整します。音符の数が多すぎて収まらない場合、表示される小節数が少なくなることがあります。その場合、上述のとおりフォントサイズを調整してください。
 - **小節番号**: 小節番号の表示を、組段ごと、小節ごと、なしから選択。小節番号を付け直すには、小節番号をダブルタップしてからスタートさせたい番号を入力します。それに続くすべての番号が調整され、以前に番号を付け直した小節に到達すると停止します。
- **ページ余白**: ページ余白を調整(インチ単位)
- **ページテキスト**: タイトル、クレジット、サブタイトル、作曲家などの特殊テキスト項目のスタイルを追加および編集、新規テキスト要素を追加改行を追加するには、EnterまたはShift+Enterを使用します(プラットフォームにより異なります)。
 - **ページテキストを追加**
 - **タイプ**
 - **テキスト**
 - **配置**
 - **ページに表示**
 - **フォント**
 - **フォントスタイル**
 - **フォントサイズ**
- ページテキストを削除するには、テキストをタップしてから **選択対象を削除** をタップします。

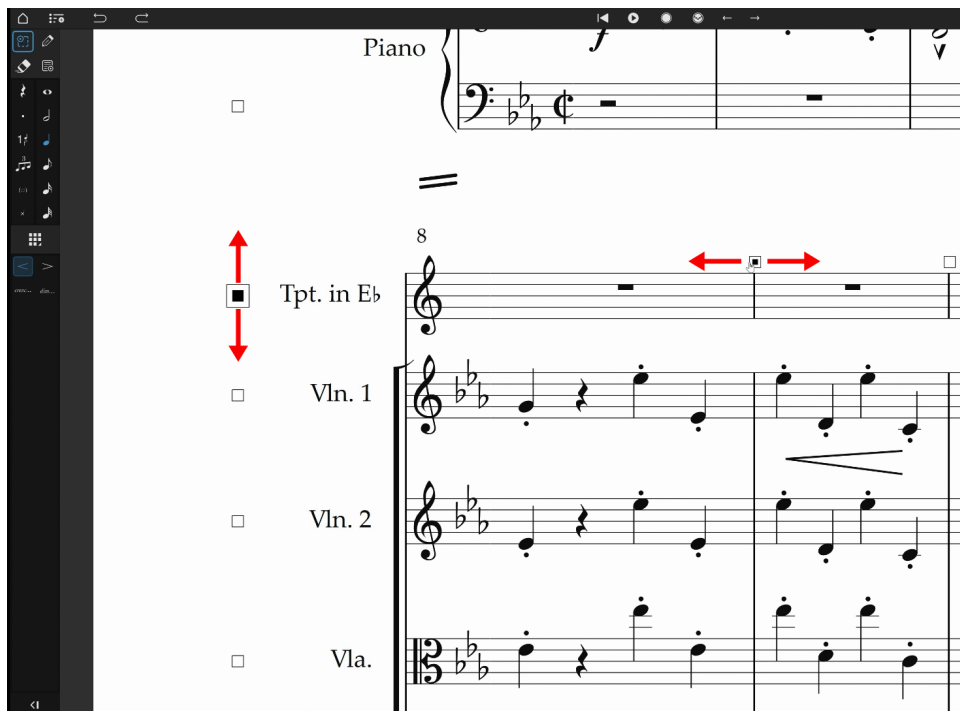
レイアウトコントロール

追加のレイアウト機能は、オプションのFeature Bundleの一部として使用できます。Feature Bundleは、アプリ内課金またはStudio One+メンバーシップにより利用可能です。

レイアウトハンドルを表示

このツールは、[スコアセットアップ]> [レイアウト]> 表示オプション]にあります。または、キーボードショートカット Cmd+Shift+L(macOSおよびiOS) またはCtrl+Shift+L(その他のプラットフォーム) を使用します。

有効にすると、枠(ドラッグハンドル)が表示されます。これで、五線や組段を上下に、小節線を左右にそれぞれドラッグできます。このハンドルは印刷ビューにのみ表示されます。



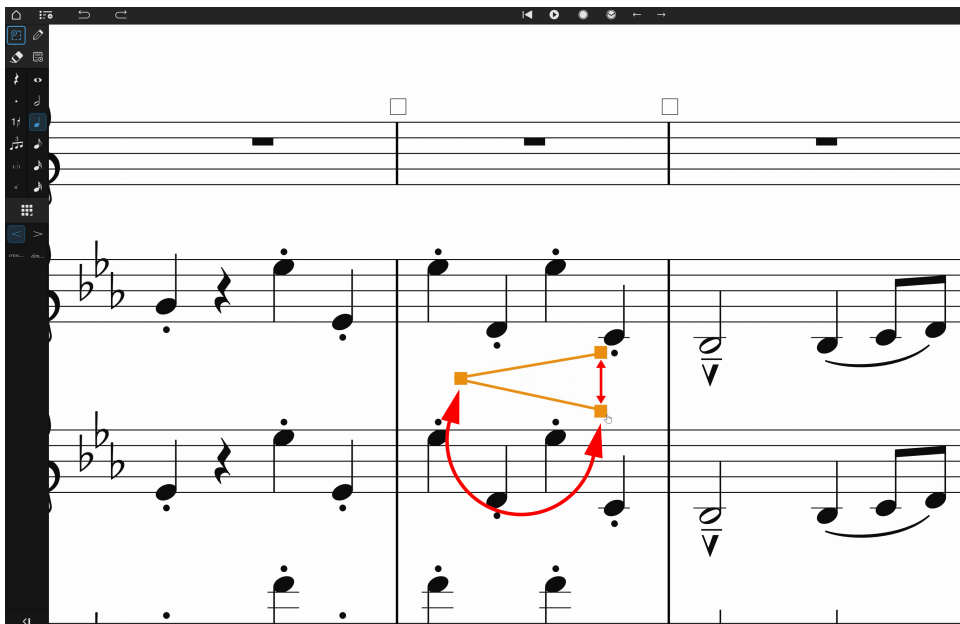
ハンドルをドラッグすると、枠が塗りつぶされ、手動で調整が行われたことが示されます。レイアウトは、フルスコアとパート譜の間、各パート譜の間で影響を受けません。

間隔をリセット

レイアウトハンドルの枠を選択してから削除キーを押すか消しゴムアイコンをタップします。

ヘアピン角度

レイアウトツールが有効な状態では、ヘアピン(クレッシェンドまたはデクレッシェンド)の開きの角度や全体の角度を変更することもできます。これは印刷ビューおよび画面ビューで可能です。



カスタマイズビュー

レイアウト設定で説明した記譜の [レイアウト] オプションに加えて、Notion Mobileには、ユーザーの好みやワークフローに合わせてアプリをカスタマイズできる [ピアランス] オプションが用意されています。

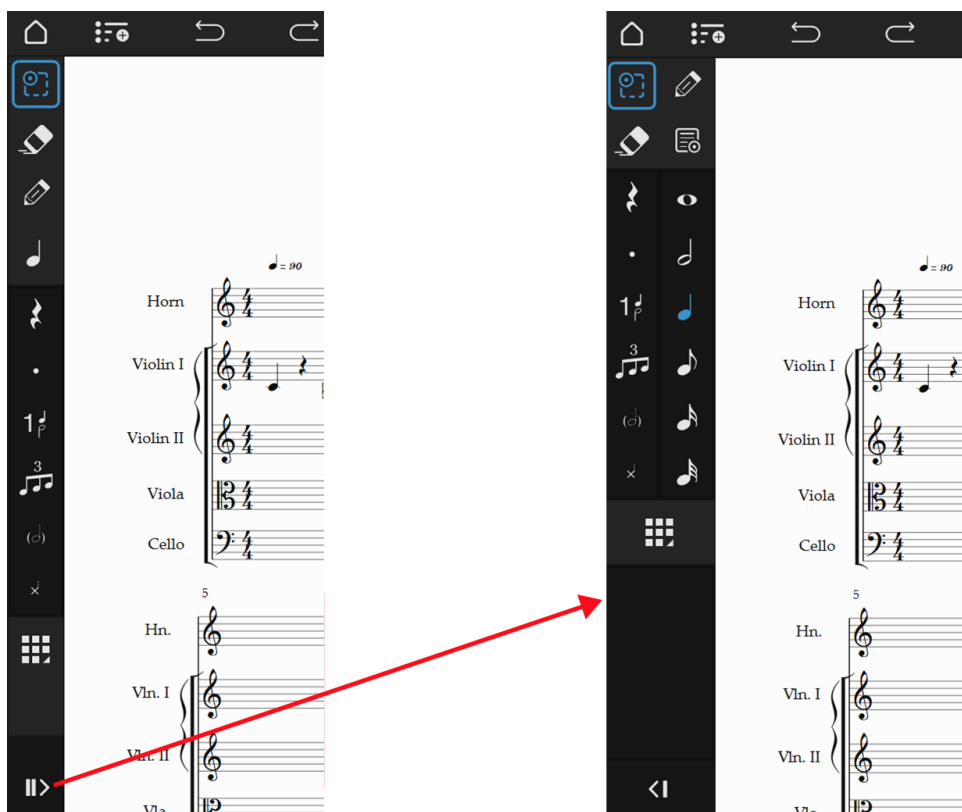
アプリケーションメニュー(右上の3点アイコン)をタップして [オプション] を選択します。

ここには、次のオプションが表示されます。

- **ライト色スキーム:** このアプリのデフォルトスキームはダークモードですが、メニューバー、パレット、ダイアログ、メニューにライトを選択できます。
- **ダークスコア:** スコアエリアの色が反転し、背景がダーク、音符がライトになります。光量の少ない環境で画面のチラつきを最小限に抑えるのに最適です。
- **右側のツール:** 選択すると、縦のツールパレットを画面左ではなく右に配置できます。
- **小UI:** パレットとトランスポートのアイコンサイズが縮小され、スコアのスペースが広がります。

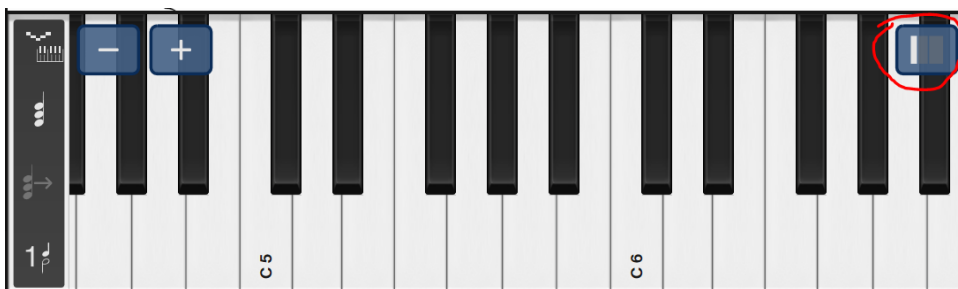
拡張パレット

パレット最下部のアイコンをタップすると、表示される列数を変更できます。画面スペースに余裕がある場合、2列が表示されます。この表示には手書きツールアイコンが常時表示されるので、自動で切り替わるスタイラス(Apple PencilやSurface Penなど)をご所有でない場合、ここから手書きモードに切り替えることが可能です。



拡張パレット

画面上の鍵盤では鍵盤の幅を3段階に変更できます。詳しくは「[音符を入力する](#)」をご参照ください。



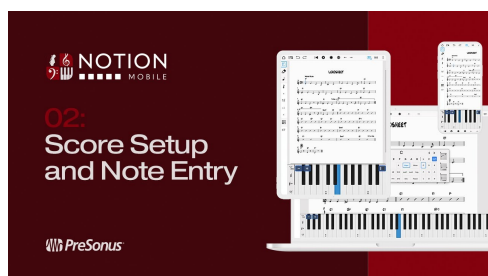
移動/ズーム

ページは自由に移動および拡大縮小できますが、その可否はご使用の端末の種類や手書き認識機能の有無に依存します。

- タッチスクリーンで通常入力または自動手書きモードを使用する場合 (Apple PencilやSurface Penを使用) :
 - ズームアウトするには2本指を開き、ズームインするには2本指を閉じ(ピンチ)ます。
 - スクロールするには1本指でページをドラッグします。
- タッチスクリーンで手動手書きモードを使用する場合 (スタイラスや指を使用して手書きメモを作成) :
 - ズームアウトするには2本指を開き、ズームインするには2本指を閉じ(ピンチ)ます。
 - スクロールするには、**2本指**でページをドラッグします。
- キーボードショートカット :
 - ズームインするには**Ctrlと「+」**を押します。
 - ズームアウトするには**Ctrlと「-」**を押します。
 - (macOSおよびiOSの場合、CtrlをCmdに置き換えます。)
- デスクトップでマウスのスクロールホイールを使用する場合 :
 - 上下に移動するにはスクロールホイールを使用します。
 - 左右に移動するには**Shift+スクロールホイール**を使用します。
 - ズームイン/アウトするには**Ctrl+スクロールホイール**を使用します。

*注:これが機能しない場合、スクロールロックがオンになっているかどうか確認してください。

こちらから[クイックスタートチュートリアル](#)をご覧ください。



音符を入力する

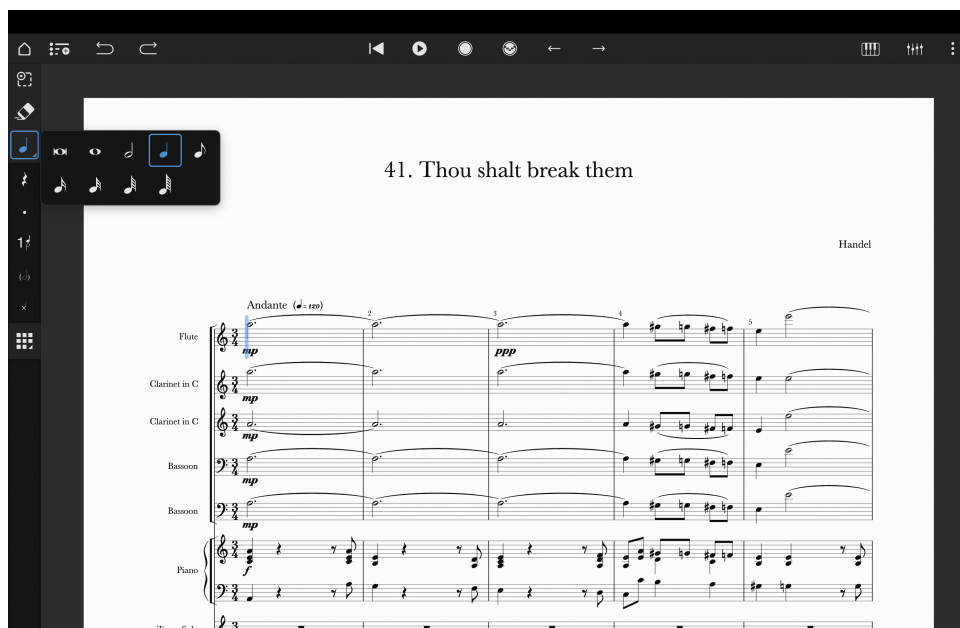
Notion Mobileで音符を取り込むには、リアルタイム演奏、手書き、MusicXMLのインポート、音符をタップ入力するといった方法があります。選択する音符入力手法は好みだけでなく状況によって異なります。たとえば、高速で派手なパッセージはステップ入力を使用するとよりすばやくかつ正確に入力できます。また、周辺機器にもよります。たとえば、Apple Pencilで描画したり、接続されているキーボードでキーボードショートカットを入力したり、MIDI Bluetoothピアノキーボードで音符を再生したりできます。

- **音符をタップ(またはクリック)**

音符の入力を始めるには、これが一番簡単な方法です。

- ツールパレットの**音符ツール**をタップします。
- スコア内の音符を入力したい箇所を手でタップします。
- これで完了です。

デュレーションを変更する

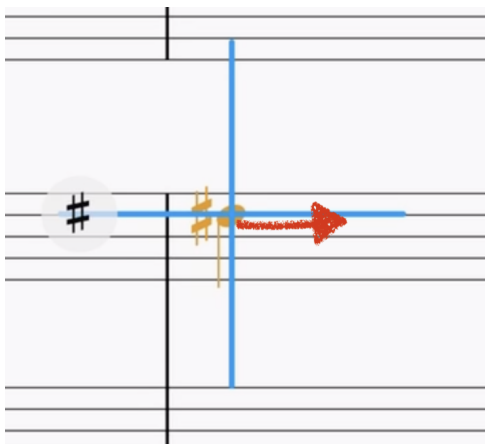
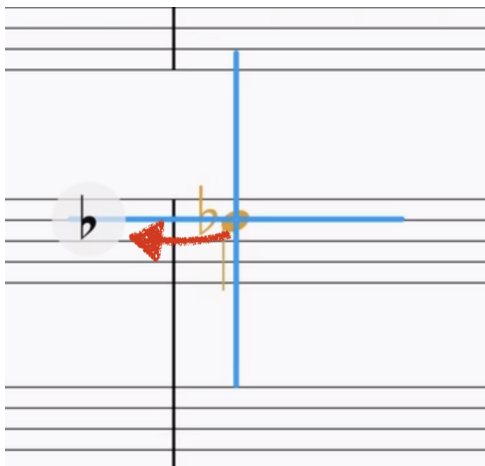


- **音符ツール**を1回タップすると、現在表示されているデュレーションが選択されます。
- もう一度タップすると、すべてのオプションが表示され、異なるデュレーションを選択できます。

- ワンジェスチャーですばやくデュレーションを変更するには、音符ツールを押しながらスワイプして開き、希望のデュレーションで指を離します。これは、タッチスクリーンをタップする場合でも、マウスでクリックする場合でも同じです。
- キーボードを接続している場合(有線またはBluetooth)、[キーボードショートカット](#)で音符のデュレーションを変更することも可能です。

音符入力時にピッチを変更する

- タッチスクリーンでは、スコアを長押しすると指の下に十字が表示されます。上下にドラッグして希望のピッチにしてから指を離すとそのピッチで音符が入力されます。
- 長押ししている間に左右に少しドラッグすることもできます。この操作で音符に臨時記号(シャープやフラット)を追加できます。
- ドラムセット譜表にドラムの音を入力する場合、ドラムのラベルも十字線の下に表示されます(例:タム14)。また、左右に少しドラッグしてバリエーションを追加し符頭や符尾を変更できます。(例:「タム14リムショット」)



タブ譜に音符を入力する

- デュレーションを選択し、任意の弦をタップします。
- テキストボックスが表示され、タッチスクリーンを使用している場合、オンスクリーンキーボードが表示されます。
- フレット番号を入力し、Enterをタップします。

休符を入力する

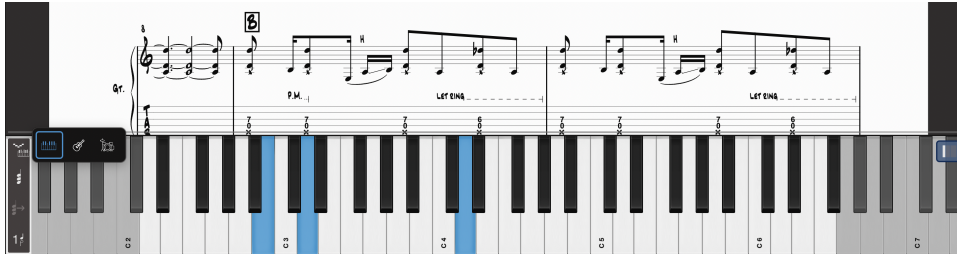
- 音符ツールでデュレーションを選択します。
- 休符アイコンをタップします。
- 音符入力に戻るには、もう一度休符アイコンをタップするか、音符ツールをタップします。
- 休符はキーボードショートカットで選択することもできます。デュレーションのショートカットで音符と休符を切り替えることができます。

- 既存の音符を休符に変更したり、その逆も可能です。パッセージまたはアイテムを選択し、[音符]>[音符/休符を切り替え]を選択します。または、Shift+Backspaceをタップします。

ステップ入力

ステップ入力では、任意のデュレーションで音符を次々に入力することができます。リズムのデュレーションは、パレットの音符ツールから選択するか、キーボードショートカット(キーボードを接続している場合)を使用して入力します。ピッチはさまざまな方法で入力できます。

画面上のインストゥルメントを使用したステップ入力



- 右上隅の画面上のインストゥルメント**ピアノアイコン**をタップします。
- アイコンが青の場合に長押しまたはスワイプすると、ピアノ鍵盤からギターフレットボードまたはドラムパッドに切り替えることができます。(インストゥルメントのステップ入力アイコンをスワイプして表示されるインストゥルメントを変更することも可能です。詳しくは下参照)
- ステップ入力のアイコンは、画面上中央のメイントランスポートと、画面左下にあります。いずれかをタップします。
- **音符ツール**またはキーボードショートカットから希望のデュレーションを選択します。
- 画面上のインストゥルメントをタップして、音符を入力します。
- 単音ではなくコードを入力するには、インストゥルメント内のコードアイコンをタップし、インストゥルメント内でコードを構築します。トランスポートの右矢印アイコンをタップします。
- 先に入力したコードを繰り返すには、矢印のついたコードアイコンをタップします。このアイコンは、コードを入力すると選択可能になります。
- ステップ入力中に休符を入力するには、希望のデュレーションを選択してからパレットの休符アイコンをタップするか、キーボードショートカットスペースキーを使用します。
- ステップ入力中にタイを追加するには、まずタイの最初の音符を入力してからパレットの**タイツール**をタップします。このツールのキーボードショートカットはTです。次に、タイの2音目を入力します。
- 左右に移動するには、トランスポートエリアの左右の矢印アイコン、またはナビゲーションキーボードショートカットを使用します。
- 移調楽器の音符を移調スコアに入力する場合、ピッチを自分で演奏する(自分で移調する)こともできますし、Notionに移調を任せすることもできます。録音設定]> [トランスポーズ入力]を開きます。

ピアノキーボード

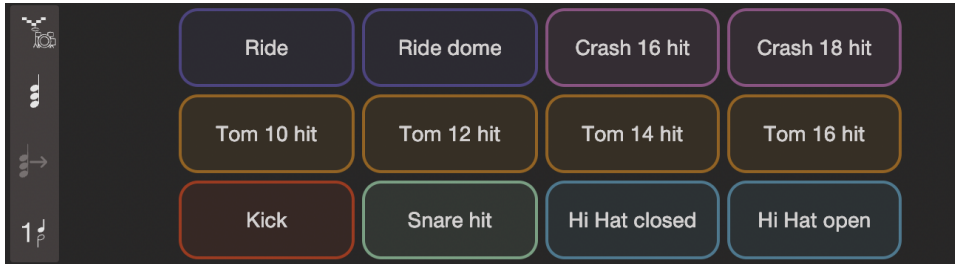


- オクターブ単位でずらすには、「+」または「-」のアイコンをタップするか、鍵盤の上部にあるキーボードをスワイプします。青いスワイプエリアが表示され、リアルタイム録音に使用中でもキーボードを左右にドラッグすることができるようになります(下参照)。
- 画面サイズや好みに合わせてキーの幅を調整できます。幅は3種類あり、幅のアイコンをタップして切り替えることができます。

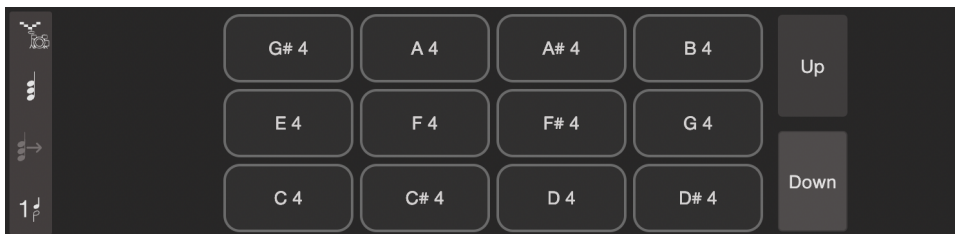
ギターフレットボード

- フレットボードをずらすには、「+」または「-」のアイコンをタップします。

ドラムパッド



- ドラムを選択すると、12色に分類されたドラムパッドが使用できます。ドラムパッドをタップして入力すると、それぞれの符頭やトレモロなどが自動的に追加されます。
- パッドに表示されるドラムを変更するには、パッドを右クリックまたは長押しして選択します。リストをスクロールして【パッドをリセット】を選択するとデフォルトに戻ります。
- 楽音インストゥルメントを選択した場合、ドラムパッドにピッチとそのオクターブが表示されます(例:A4)これらはタップして入力できます。オクターブを変更するには、上/下パッドをタップします。



MIDIインストゥルメントを使用したステップ入力

- MIDIインストゥルメントを有線またはBluetoothでデバイスに接続します。
- Notionのアプリケーションメニュー-> [録音設定]で、ドロップダウンリストからMIDIインストゥルメントを選択します。
- 画面上のトランスポートエリアにあるステップ入力のアイコンをタップします。
- 音符ツールまたはキーボードショートカットから希望のデュレーションを選択します。
- 接続しているキーボードで音符またはコードを入力します。
- ステップ入力中に休符を入力するには、希望のデュレーションを選択してからパレットの休符アイコンをタップするか、キーボードショートカット **スペースキー**を使用します。
- ステップ入力中にタイを追加するには、まずタイの最初の音符を入力してからパレットの**タイツール**をタップします。このツールのキーボードショートカットは**T**です。次に、タイの2音目を入力します。
- 左右に移動するには、トランスポートエリアの左右の矢印アイコン、またはナビゲーションキーボードショートカットを使用します。
- 移調楽器の音符を移調スコアに入力する場合、ピッチを自分で演奏する(自分で移調する)こともできますし、Notionに移調を任せすることもできます。 [録音設定]> [トランスポーズ入力]を開きます。

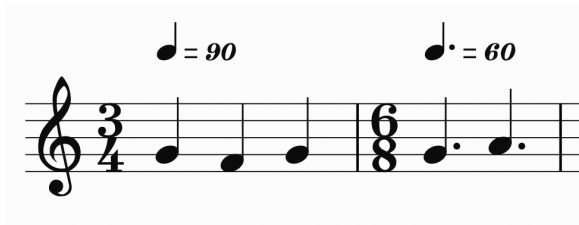
リアルタイム録音

Notionではリアルタイム録音が可能で、メトロノームのクリックに合わせて演奏しながら音符やデュレーションを入力できます。この方法はシンプルな曲に向いています。複雑な曲の場合、メトロノームマークを変更してテンポを落として入力するか、ステップ入力など別の音符入力方法を使用するよいでしょう。入力には、画面上のインストゥルメントか、接続されているMIDIインストゥルメントを使用できます。トランスポートの録音ボタンを押してから演奏します。停止すると、Notionにより演奏が分析され、記譜されます。

録音オプションを設定する

- アプリケーションメニュー> [録音設定]を開きます。
- 必要に応じて、接続されているMIDIインストゥルメントを選択します。
- メトロノームのクリックのオン/オフを切り替えます。これは録音と再生の両方に対する設定です。
- 録音開始前のカウントインの長さを小節数で選択します。
- ノート入力時にNotionにMIDIインストゥルメントのトランスポートを任せるには [トランスポート入力]を選択します。
- 以降のオプションでは、Notionがどうパフォーマンスを分析するかを指定します。デフォルトはMIDIキーボード入力に対して最適化された設定です。 [プリセット] ボタンをタップすると、MIDIギターとMIDIキーボードの間で切り替えることができます。
 - **最小ベロシティ**: 音の最小MIDIベロシティを1から127の間で設定できます。ここで設定したレベルを下回る音はNotionでは無視されます。
 - **最小デュレーション**: 音の最小デュレーションをミリ秒単位で設定します。ここで設定したデュレーションを下回る音はNotionでは無視されます。
 - **分割ポイント**: 大譜表(ピアノ、ハーブ、マリンバなど、1つのインストゥルメントに対して右手と左手用に2つの譜表を使用する)に音符を入力する場合、どちらにどの音を割り当てるかを設定できます。これはピアノの場合、デフォルトでC4(中央のC)に設定されています。
 - **連符**: Notion分析に連符(3連符だけでなくその他の連符も含む)を使用するかどうかを設定します。
 - **マルチチャンネルギター**: マルチチャンネルMIDIギターをご使用の場合、これを選択すると弦毎に1チャンネルが当てられます。

デフォルトのメトロノームクリックデュレーション



メトロノームクリックに合わせて演奏する際、Notionは印刷されたメトロノームマークに追従します。これは、特に曲の後半で拍子記号が変わる場合、覚えておく必要があります。たとえば、3/4拍子の**4分音符=90**で始まり、その後6/8拍子になる曲があるとしたら、新しいメトロノームマークが追加されない限り、メトロノームは1小節あたり4分音符3回でクリックし続けます。この場合、新しいメトロノームマークを拍子変更時に追加し、**付点4分音符=60**にします。これで、1小節あたり2クリックが聞こえるようになります。

手書き入力

また、手書き文字を音符入力ツールとして使用することもできます。Notionの手書きエンジンにはMyScript™が使用されています。MyScript™では何千もの異なる音楽の手書きスタイルが分析されており、カスタムジェスチャーやソフトウェアによるユーザーの手書きスタイルの「学習」の必要がありません。Notionは、音符、休符、和音、アーティキュレーション、小節線、臨時記号、拍子記号、小節線、加線、スラー、タイ、音部記号を変換できます。一覧については下をご参照ください。手書き入力はすべてのプラットフォーム(Windows、macOS、iOS、Android)とすべてのデバイス(電話、タブレット、コンピューター)に対応しており、スタイラスはもちろん、指も使用できます。アクティブスタイラスの筆圧感知にも対応しています。Notion Mobileをタッチスクリーンで使わない場合、グラフィックタブレットを手書き入力に使用することも可能です。

手書き入力は標準の五線譜で利用できます(パーカッション1線譜やタブ譜では利用できません)。アプリ内購入またはStudio One+アカウントでサインインすることでアンロックできます。

アクティブスタイラスを使用した手書き入力(例: Apple Pencil/Microsoft Surface Pen)

Notionは、アクティブスタイラスと指の違いを自動検出できます。

- このタイプのスタイラスを使用している場合、デフォルトでは、スタイラスに手書き入力が自動適用され、指は通常のノート入力やスコアナビゲーションに使用します。
- モードは手動で切り替えることもできます。アプリケーションメニュー> [オプション]で [手書き入力]をオフにします。これで、拡張パレットビュー(アプリケーションメニュー> [オプション]> 拡張パレット)に表示される手書き入力ツールアイコンを使用して手動でモードを切り替えることができるようになります。

- このタイプのスタイラスは筆圧感知式で、描画時に押す強さによって線の太さが変化します。この情報は変換時に破棄されますが、描画がより自然かつ正確になります。
- Apple Pencil第2世代では、タイマーによる設定時間を待たずに、小節の外側をダブルタップして認識プロセスを進めることができます。
- スタイラスを使用すれば、手書きモードで複数のオブジェクトを囲むように描画して「投げ縄」選択することもできます。Notionでは、手書き記譜に対するフリーハンド選択が自動検出され、モードを自動で切り替わります。

指/標準スタイラスを使用した手書き入力

- パレット内の手書きツール(「鉛筆」アイコン)をタップします。
- これでスコアに描画できるようになります。
- 描画後に一定時間が経つと、Notionにより手書き文字が解析され、デジタル記譜に変換されます。
- 手書きモード中に不要な線を描画することなくスコアをナビゲートまたはズームするには、2本指で同時にドラッグ&ピンチします。

削除

手書きモード中に削除するには、符頭をスクリブルして音符を完全に削除するか、個々の添付要素(アクセントなど)をスクリブルします。また、アイテムを選択して削除ツールを使用することもできます。

声部

手書き入力に複数の声部を描画できます。まず、声部ツール(下参照)で声部を選択します。

ドラム/パーカッション

ドラムセットや打楽器などの五線譜を使う楽器も入力できます。認識されると、最も近い音符/テクニック/符頭が入力されます。たとえば、ドラムセット譜表の一番上の線(例:ハイハット)に4分音符を入力する場合、認識されると自動的にクロスヘッド音符に変換されます。

手書き入力の認識遅延

最後の音を書き込んでからデジタル表記に変換するまでの時間を調整できます。変換の遅延時間は、0秒(瞬時変換)から、非アクティブになってから10秒までの範囲で設定可能です。





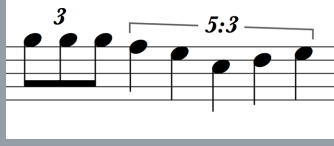

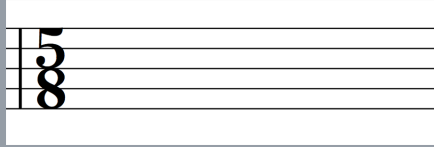
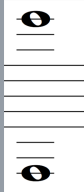
- アプリケーションメニュー> [オプション]> [認識遅延]を選択します。
- スライダーを調整します。自分に合ったレベルを見つけるまで、さまざまなレベルを試してみましょう。

手書き入力のヒント

- 音符や記号を正確に入力するのが難しい場合、ズームインしてみましょう。
- 対応するアクティブスタイラスは指よりも正確で、筆圧感知式なのでより本物の書き心地に近い感覚を得ることができます。
- 好みに合わせて認識遅延を変更してみましょう。
- さまざまな音符入力方法を組み合わせてみましょう。たとえば、指やステップ入力で音符を入力してから、Apple Pencilでアーティキュレーションを手書き入力するなどです。Notionは、指とApple Pencilを自動検知し、それに応じてモードを切り替えます。
- 既存の音符がある小節に音符を追加する場合、Notionでは小節全体が再分析されます。これ自体は問題ありませんが、手書きエンジンが対応していない既存の要素(装飾音符など)がある場合、これらは無視され、さらには破棄されることもあります。このような場合、こういった要素を再入力する必要がないよう、別の音符入力方法を使用する方がよいでしょう。
- 1つのインストゥルメントに複数の五線譜が使用される大譜表インストゥルメント(ハーブやピアノなど)の場合、一度に1つの五線譜に音符を描画することをおすすめします。
- ドラム、パーカッション、タブ譜は対応していませんのでご注意ください。

手書き入力対応要素

音部記号	小節線/反復線
	

音符の音価(デュレーション)	和音/臨時記号
	
休符の音価(デュレーション)	タイ/スラー
	
連符	アーティキュレーション
	
拍子記号	加線
	

声部ツール

Notion Mobileでは、1五線譜につき最大4声部を入力できます(声部3と4はウェルカムパックの一部として提供されます。ウェルカムパックは製品登録(無料)することでアンロックできます)。どの入力方法でも、デフォルトでは音符は声部1に入力されます。別の声部に入力したい場合、声部ツールをタップします。声部ツールは、メインパレットまたは画面上のインストゥルメント左からアクセスできます。これで、直前に選択した2声部間ですばやく切り替えることができます。他の声部を選択するには、長押ししてオプションを開くか、**長押し+スワイプ+離す**の操作を行います。

- また、キーボードショートカットで声部を選択することもできます。
- 既存の音符については、音符を選択してから、特定の声部に送信するよう選択できます。コンテキストメニューを開いてから**ツール> 声部Xに送信**を選択します。
- すでに2声部があり、この声部間で音符を入れ替えたい場合、そのパッセージを選択してコンテキストメニューを開き、**ツール> 声部を交換**を選択します。

こちらから[クイックスタートチュートリアル](#)をご覧ください。

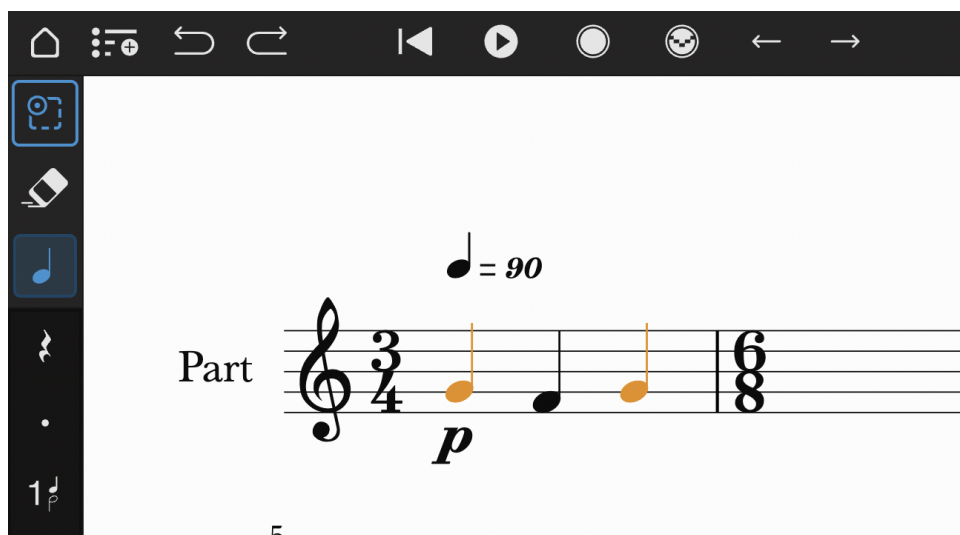


音符を選択および編集する

Notion Mobileではすばやい選択と編集が可能で、好みのワークフローに合わせたさまざまな方法が用意されています。ドラッグによるピッチの移動、コピー/カット/複製、すべての音符にアーティキュレーションを適用、音符を休符に変更、選択範囲の左側に強弱記号を追加、デュレーションパレットをタップしてデュレーションを変更といった操作が行えます。

選択する

個別要素を選択する



- **選択ツール**をタップします。
- 音符、休符、強弱記号などの要素をタップして選択すると、その要素がオレンジ色に変わります。
- 隣り合っていない複数の要素(離れたところにある複数の音符など)を選択するには、**Shift**を押したまま符頭をクリックします。

範囲を選択する

- マウスを使用する場合、選択したい要素の上をクリック&ドラッグします。
- タッチスクリーンの場合、画面をタップし、そのまま選択したい要素を指でドラッグします。
- 1小節全体をすばやく選択するには、小節をダブルタップまたはダブルクリックします。
- 選択範囲を広げるには、選択されたエリアの2つの丸ハンドルをドラッグするか、Shiftキーを押しながらクリックしてクリックした小節まで範囲を広げます。
- アクティブスタイラスを使用(または「投げ縄選択」): 手書きモードで、アクティブスタイラス(Apple PencilやSurface Penなど)を使用して、選択されている要素を囲むように描画します。これで自動選択されます。

選択範囲から項目を削除する

- **Shift+クリック**: 各要素を削除
- **Opt+Shift+ドラッグ**: 複数の要素を選択範囲から削除

すべて/パートを選択

- スコア全体を選択するには、コンテキストメニュー-> 選択]> すべてを選択](Ctrl+A) を選択します。
- 現在のパート全体を選択するには、コンテキストメニュー-> 選択]> [パートを選択](Ctrl+Shift+A) を選択します。
- すべての選択を解除するには、選択範囲外をクリックするか、コンテキストメニュー-> 選択]> すべてを選択を解除](Ctrl+D) を選択します(コンテキストメニューについては下をご参照ください)。

選択範囲のピッチを変更する

デフォルトでは、音符をドラッグするとその音符が再生されるため、変更内容を耳で確認できます。これは、アプリケーションメニュー-> オプション]> 操作中に音符を再生]で無効化できます。

個々の音符のピッチを変更する

- 音符をタップして上下にドラッグしてピッチを変更できます。
- 音符をタップして左右にドラッグすると、臨時記号を変更できます。
- ドラムセットの場合、音符をタップして左右にドラッグすると、演奏テクニックを変更できます。

選択されている複数の音符のピッチを変更する

- 選択されている複数の音符の符頭または符尾をタップして上下にドラッグすると、全音単位でピッチを変更できます。

キーボードショートカットでピッチを調整する

- **Alt/Option**を押したままノートを上下にドラッグすると、ピッチを変更することなく臨時記号 **だけ**を変更できます。
- **上/下**: 音符を全音単位で移動できます。
- **Ctrl/Cmd+上/下矢印**: 音符を半音単位で移動できます。
- **Shift+上/下矢印**: 音符をオクターブ単位で移動できます。

異名同音ツールを使用する

- 選択されている音符の異名同音を変更する(例: F#からGbに変更する)には、ツールグリッドを開き、異名同音ツールをタップします。または、キーボードショートカット **E**を使用します。

選択範囲のデュレーションを変更する

- パレットのリズムデュレーションをタップすると、選択されている音符のデュレーションが変更されます。
- 選択されている音符のデュレーションを変更する(例: **E**の8分音符)には、**デュレーションのキーボードショートカット**を使用します。デュレーションには文字または数字を使用できます。キーボードショートカットについては詳しくは**キーボードショートカット**の章をご参照ください。

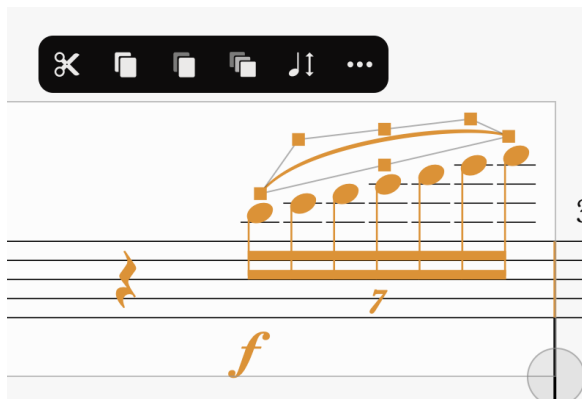
音符と休符を切り替える

- **音符/休符を切り替え**ツールを使用して、既存の音符を休符にしたり、逆に休符を音符にしたりすることができます。範囲を選択してから、コンテキストメニュー-> [ツール]> 音符と休符を切り替え]を選択するか、キーボードショートカット **Shift+Del**を使用します。
- 休符から音符に移る際、中間線上にピッチが作成されます。これは後で自由に変更できます(上参照)。

コピー&ペースト、その他

個別に選択されている要素やオブジェクト範囲にはさまざまな操作が可能です。まず選択(上参照)してから:

編集ダイアログ

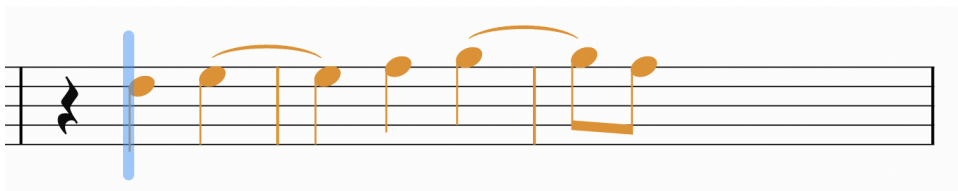


小節をダブルタップして選択すると、編集ショートカットダイアログが表示されます。これで、最もよく使用するツールにすばやくアクセスできます。

- **カット**: 選択されている部分がカットされ、クリップボードにペーストされます。
- **コピー**: 選択されている部分がコピーされ、必要な箇所にペーストできるようになります。
- **ペースト**: カットまたはコピーした部分を現在のカーソル位置にペーストできます。
- **複製**: 現在の選択部分がコピーされ、選択部分の末尾にペーストされます。
- **トランスポーズ**: トランスポーズダイアログが開きます。
- **...**: フルのコンテキストメニューが開きます(下参照)。

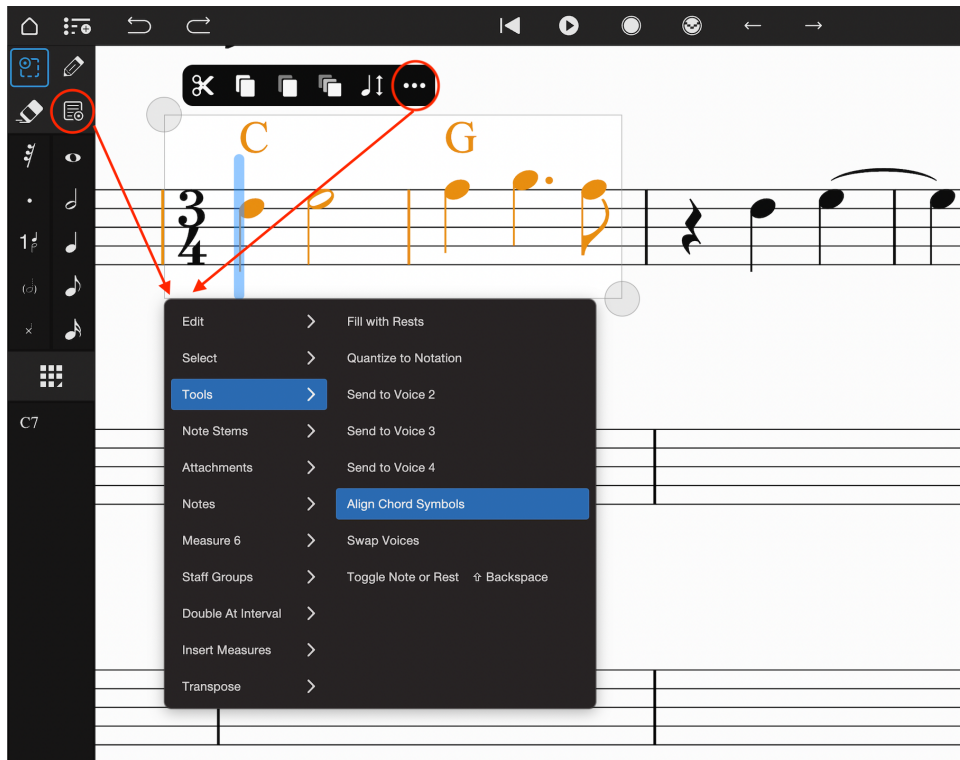
キーボードショートカットは次のとおりです。カット: **Ctrl+X**、コピー: **Ctrl+C**、ペースト: **Ctrl+V**、ペーストして挿入: **Ctrl+Shift+V**、複製: **D**

ペーストして再フロー



コピーまたはカットされた選択部分を、オリジナルとは異なるリズム位置にペーストすると、小節線を超えて音楽がリフローされます。必要に応じて、デュレーションの変更やタイの追加/削除が行われます。

コンテキストメニュー



コンテキストメニューを開くには、次のいずれかを行います。

1. 右クリック(タッチスクリーンでは長押し)します。
2. ダブルタップして矩形選択してから3点アイコンをタップします。[.]
3. 拡張パレットで、コンテキストメニューのアイコンをタップします。(拡張パレットを2列で表示するには、アプリケーションメニュー→ オプション]に進みます。)

コンテキストメニューはアダプティブで、選択対象に関連するツールのみ表示されます。たとえば、ツールメニューの [コード記号を揃える] は、選択に2つ以上のコード記号が含まれている場合にのみ表示されます。

コンテキストメニューのオプションは次のとおりです。

編集

編集]メニューでは、カット、ペースト、コピー、複製のほか、次が行えます。

- **削除**: 選択対象が削除されます。キーボードショートカット **Delete** を使用するか、パレットの消しゴムアイコンをタップしても実行できます。
- **ペーストして挿入**: 後続の音符を上書きすることなくペーストします。
- **声部xにペースト**: 別の声部にペーストします。声部3と4は、登録すると無料で入手できるウェルカムパックの一部として提供されます。
- **小節を削除**: 選択に含まれるすべての小節が削除されます。

選択

- **すべてを選択**
- **すべての選択を解除**
- **パートを選択**
- **コード記号を選択**
- **歌詞を選択**
- **声部xを選択**: xには1から4の数字が入ります。

- **最高音を選択**: 選択に含まれる和音の最高音が選択されます。
- **最低音を選択**: 選択に含まれる和音の最低音が選択されます。

ツール

- **休符で埋める**: 現在選択されている範囲を休符で埋めます。
- **リズムスラッシュで埋める**: 現在選択されている範囲を符尾なしのリズムスラッシュで埋めます。
- **連符を作成**: 選択されている音符を連符にします。
- **連符を削除**: 選択されている音符から連符を削除します。
- **記譜にクオンタイズ**: 記録されているMIDIデュレーションとリズムを記譜に正確にマッチするよう調整します。
- **声部xに送信**: 選択されている音符を希望の声部に送信します。声部3と4は、登録すると無料で入手できるウエルカムパックの一部として提供されます。
- **譜表を切り替える**: 大譜表インストゥルメントで、音符を一方の手から別の手の五線譜に移動させます。(これは、ある譜表の一部である音符が別の譜表上に表示される「五線をまたぐ」表記とは異なります。こちらはパレットから利用できます。)
- **運指を揃える**: 2つ以上の運指記号を揃えます。
- **コード記号を揃える**: 2つまたはそれ以上のコード記号を譜表の上で縦に揃えます。
- **声部を交換**: 選択に2声部が含まれている場合、このツールで声部間で音符を交換します。
- **タブ番号をリセット**: タブ番号を5番フレットを中心にリセットします。
- **音符/休符を切り替え**: 選択されている音符すべてを同価の休符に変化させます(逆も同じ)。キーボードショートカットは Shift+Backspace です。
- **小節休符を削除**: 選択に含まれる小節休符を削除します。
- **休符を表示/隠す**: 休符を表示または隠します。

アーティキュレーション

- **アーティキュレーション 上/デフォルト/下**: アーティキュレーションの符頭がどちら向きに表示されるのかを調整します。
- **アーティキュレーションを削除**: 選択からアーティキュレーションを削除します。キーボードショートカットは **Ctrl+Backspace** です。

符尾

- **符尾 上向き/デフォルト/下向き**: 符尾の向きを変更できます。
- **符尾を表示**: 音符の符尾を表示/隠します。

アタッチメント

- **アタッチメント 上/デフォルト/下**: アタッチメントが符頭のどちら側に表示されるかを調整できます。
- **アタッチメントを表示/隠す**: アタッチメントを表示/隠します。
- **テンポ記号を短縮**: メトロノーム記号が小節ごとに多数表示される場合 (MIDIテンポトラックをインポートした後など) に記号を省略します。
- **テンポ記号を削除**

音符

- **リズムスラッシュとして表示**: 音符をリズムスラッシュに変換します。リズムスラッシュの上にあるコード記号はすべてプレイバック時に再生されます。4分音符のスラッシュの符尾を隠すには、上記のように符尾 > [符尾を隠す] を使用します。
- **キューとして表示**: 音符をキュー音符サイズに変更します。
- **ゴーストノートとして表示**: 音符をゴーストノートに変更します。
- **装飾音符として表示**: 音符を装飾音符として表示します。
- **装飾スラッシュを表示**: 装飾音符の上のスラッシュ(アチャカトウーラ)を表示/隠します。
- **タッチに設定**: タッチの場合、音符は再生されません(印刷には反映されます)。
- **臨時記号を削除**: 選択されている音符から臨時記号が削除されます。

小節x(xには現在の小節番号が入ります)

- **小節番号を常に表示/表示しない**: 小節番号を表示/隠します。文書全体のオプションで小節番号表示をオフ(またはその逆)にすることも可能です。
- **新規組段を強制**: 選択されている小節から新規組段を強制します。
- **新規ページを強制**: 選択されている小節から新規ページを強制します(印刷ビューのみ)。
- **次の小節に連結**: 現在の小節とそれに続く小節を同じ組段に維持します。

- **通常の小節**:小節を通常の小節にします。
- **弱起小節**:小節を弱起小節に変換します。その後、この弱起小節に任意数の音符または休符を入力します。
- **不完全小節**:小節を不完全小節に変換します。長い小節を組段を超えて分割したりできます。

譜表グループ

複数のインストゥルメント譜表が選択されている場合、次の方法でグループ化できます。

- **大括弧グループ**:組段の頭に波括弧を作成します。ピアノなどの大譜表インストゥルメントに使用されます。
- **括弧グループ**:組段の頭に括弧を作成します。同じグループに属するインストゥルメントをまとめるのに使用されます。
- **小節線グループ**:小節線を複数の譜表にわたって延長します。同じファミリーのインストゥルメントの譜表に使用されます。
- **テンポ情報を表示**:メトロノームマークを各グループの上に複製するオプションです。

強弱記号の調整

- **強弱調整**:記譜された強弱記号の再生レベルを調整します。各整数値は強弱記号の段階を示します(例:mf、f、ff)。
- **記譜の強弱記号を調整**:記譜された強弱記号を変更できます。オフの場合、記譜されたものと異なる強さ/弱さで再生できます。
- **二重奏**:現在の選択対象の既存の音符の上または下に音符を追加します。
 - インターバル、インターバルの種類、どのオクターブに追加するかを選択できます。
- **小節を挿入**:スコアに空の小節を指定の数だけ挿入します。
- **テキストスタイル**:選択されているテキストのフォント、フォントサイズ、スタイルを調整するのに使用します。
 - レイアウトスタイルを使用:デフォルトのグローバルテキストスタイルを使用します。
- **移調**
 - インターバル、インターバルの種類、何オクターブ移調するかを選択できます。
 - 調号を移調オプション:組段内のすべての五線を選択した場合、音符だけでなく調号も移調するよう選択できます。
- **連符**メニューではカスタム連符を作成できます。(単純な連符には [ツール]メニューの [連符を作成] コマンドまたはCtrl+Tを使用します。)
 - 音符のグループをカスタム連符に変換(5つの音符を4連符にするなど)
 - 数字だけ(「5」など)、比として(「5:4」など)、何も表示しないから選択
 - 連符の上に括弧を表示するかしないかを選択
 - 連符数と括弧を下、上、デフォルトの側に強制配置するかどうかを選択

ツールグリッドを使用する

ツールグリッドのアイコンをタップして開き、使用したいツールをタップします。または、スワイプしてツールグリッドを開き、指を画面上に置いたままにして使用したいツールの上で指を離すとよりすばやく操作できます。各ツールには独自のキーボードショートカットが用意されています。たとえば音部記号ツールはCです。また、左右矢印キーでツールグリッド内を移動し、Enterキーをタップしてツールを選択することもできます。

選択したツールにさらにオプションがある場合、ツールグリッドの下に表示されます。デフォルトでは1列に配置されていますが、大画面デバイスをご使用の場合、2列で表示される拡張パレットを選択できます(パレット最下部のアイコンをタップして1列と2列の間で切り替え)。追加オプションにもキーボードショートカットがあり、1~9の数字を使用します。また、**Alt+左/右矢印キー**でさらにオプションを移動したり、メインツールのキーボードショートカットを繰り返し押すことでオプションを切り替えたりすることも可能です。

キーボードショートカットを使用して低音部記号を選択する例：

- **C**で音部記号を選択し、**2**でヘ音記号を入力する、または
- **CC**とタイプ入力

選択できたら、拍子記号の変更や既存の音符へのスタッカート追加など、ツールを使用したいスコア上の箇所をタップします。

ツールによっては複数の既存の音符に適用させることもできます。たとえば、複数の16分音符を選択してから、スタッカートのアーティキュレーションをタップし、すべての音符に適用することができます。強弱記号も同様です。たとえば、ツールを選択してから個々の音符をタップしてフォルテを追加することができますが、さまざまなインストゥルメント譜表を選択してから強弱記号をタップすることもできます。この場合、選択範囲内の各インストゥルメントに対して、選択範囲の左にフォルテが追加されます。

ツール選択を解除するには、パレットの一番上の選択アイコンをタップするか、キーボードショートカット **Esc**を押します。

ツール一覧：

- **タイ**
 - ツールを選択してから同じピッチの2音のうち最初の音をクリックすると、タイを追加または削除できます。
- **アーティキュレーション**
 - アクセント、テヌート、スタッカートのアーティキュレーション
- **臨時記号**
 - シャープ、フラット、ダブル高/低(四分音)
- **異名同音**
 - 選択されている音符に使用するか、ツールを選択してから音符をタップします。これで、F#をGbに変更するなど、音符の異名同音を変更できます。
- **スラー**
 - タップ&ドラッグで入力するか、まず選択してからツールをタップします。
- **強弱記号**
 - タップして入力するか、まず選択してから複数のインストゥルメント譜表に入力します。
- **クレッシェンド**
 - タップ&ドラッグで入力するか、まず選択してからツールをタップします。
- **スフォルツァンド**
- **音部記号**
 - ツールを選択して、音部記号を変更したい小節をタップします。または、既存の音部記号をダブルタップして変更します。
- **調号**
 - ツールを選択して、調号を変更したい小節をタップします。または、既存の調号をダブルタップして編集します。新しい調号と共にナチュラルを表示するかどうか、また、選択されているインストゥルメント譜表にのみ注記の調号を挿入するかどうかを選択できます。
 - 新規組段またはページの頭に調号が来る場合、前の組段の最後に調号が表示されます。これを非表示にしたい場合、調子を長押しするか、右クリックでツール> [組段終わりの注記を表示]を選択します。
- **拍子記号**
 - ツールを選択して、拍子記号を変更したい小節をタップします。または、既存の記号をダブルタップして編集します。4/4を一般的なコモンタイム記号(**C**)、2/2をカットタイム記号(**C**)で表示するかどうか、また、選択したインストゥルメント譜表にのみ拍子記号を挿入するかどうかを選択できます。

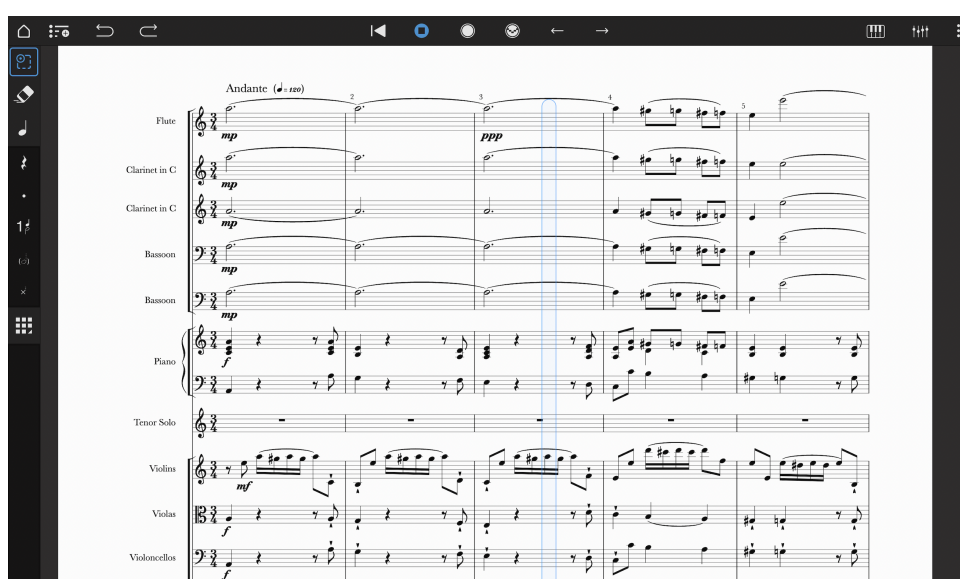
- 連桁パターンを指定することもできます。たとえば、7/8の「3+2+2」のパターンで8分音符を自動で連桁させるには、「3+2+2」と入力します。パターン内に拍を入れすぎると、警告として数字が赤で表示されます。
- 新規組段またはページの頭に拍子記号が来る場合、前の組段の最後に拍子記号が表示されます。これを非表示にしたい場合、拍子記号を長押しするか、右クリックでツール> [組段終わりの注記を表示]を選択します。
- 拍子記号を完全に非表示にするには、拍子記号を長押しまたは右クリックしてから [ツール]> [拍子記号を隠す]を選択します。
- **テンポ**
 - メトロノームマーク
 - スウィングコントロール
 - アッチェレランド/リタルダンド
- **小節線**
 - 既存の小節線を変更するには、小節線をタップします。
 - 小節を挿入するには、小節線を1本選択してから、小節を挿入したいスコア内をタップします。または、コンテキストメニューで [小節を挿入]を選択します。
 - 小節番号を付け直すには、小節番号をダブルタップしてからスタートさせたい番号を入力します。それに続くすべての番号が調整され、以前に番号を付け直した小節に到達すると停止します。
- **反復線**
 - 繰り返し記入するには反復線の終わりをダブルタップします。
 - 初回終了を繰り返し記入するには初回終了線をダブルタップします。
- **テキスト**
 - テキストボックス: 改行を追加するには、EnterまたはShift+Enterを使用します(プラットフォームにより異なります)。
 - 歌詞: 歌詞を追加するには、ツールを選択して開始したい音符の下をタップします。システムクリップボードにコピーしたテキストをNotionで使用する場合は、[ペースト]を選択します。音節を表すハイフンや、単語の最終音節のメリスマを表す線を追加することができます。バースを追加するには、既存のバースの下をタップします。追加できるバースの数に制限はありません。
 - リハーサルマーク
- **コード**
 - コード記号とギターコードダイアグラム
- **トリル**
- **トレモロ**
- **アルペジオ線**
- **オクターブ線**
- **グリッサンド**
- **ジャズフォール/スコープ**
- **ナビゲーションフロー**(DC、コーダなど)
 - うまく再生させるには、たとえば、すべてのフロー命令を正しい順序で追加する必要があります。
 - セーニョ(Segno)>フィーネ(Fine)>ダルセーニョアルフィーネ(DS al Fine)
 - セーニョ(Segno)>トウコーダ(To Coda)>ダルセーニョアルコーダ(DS al Coda)>コーダ(Coda)
- **運指番号**
 - 運指番号を各音符に追加したり、複数の運指記号を和音の上下に縦に積み重ねたりできます。変え指を入力するには、Shiftを押したまま2つ目の番号を入力します(プラットフォームに応じて異なる)。2つ以上の運指記号を選択してからコンテキストメニュー>ツール> [運指を揃える]を選択することで複数の運指を揃え直すことができます。
- **装飾音**
- **フェルマータ**
 - ツールを選択してタップし、スコアに記入します。
 - フェルマータ/中間休止/プレス記号/テヌートの再生を調整するには、スコアに表示されている記号をダブルタップします。再生時間は音価(デュレーション)または秒単位で調整できます。
- **連桁**

- **五線をまたぐ**
 - (ピアノやハープなどの) 大譜表 インストゥルメントでもう片方の手に音符を連桁します。
- **楽器変更**
 - 同一譜表内でインストゥルメントを変更できます。たとえば、フルートからサクソフォンに、BbクラリネットからAクラリネットに楽器を変更する木管楽器の奏者などに使用できます。変更したい場所をタップしてから新しいインストゥルメントを選択します。必要に応じてサウンドと移調が変更され、適切な新しい調号が追加されます。また、ミキサーに新規チャンネルが追加され、同一譜表のインストゥルメントを個別にミックスできます。
- **インストゥルメントファミリーテクニク**
 - 現在選択されている譜表が属するインストゥルメントのファミリー全体に関連するテクニク(ピチカート、アルトなど)
- **インストゥルメント固有のテクニク**
 - 現在選択されているインストゥルメント 譜表にのみ関連するテクニク(ストレートミュートなど)
- **ギター固有のテクニク**
 - ギターには、他の楽器に比べて固有のテクニクが多くあります。これらはギター譜表を選択すると表示されます。
 - ハンマリングオン、プリングオフ、フレットタッピング、ピンチ/タッピングハーモニクス、パームミュート、スラップ
 - スライドアップ/ダウン
 - ベンド、ワーミーパー、ビブラート。上下にドラッグしてベンドの範囲を、左右にドラッグしてタイミングをそれぞれ調整します
 - 弦番号
 - pimapac運指
 - アップ/ダウンストローク、ハーモニクス、オープン
 - フィンガー、ノーマル
- **ハープ固有のテクニク**
 - ハープ用のこれらの追加オプションは、ハープ譜表を選択するとツールグリッドに表示されます。
 - ハーモニクス記号 / l.v. (laissez vibrez)
 - ハープペダルダイアグラム(Ctrl+H)。ダイアログを使用して必要なチューニングを選択します。上段はフラット、中段はナチュラル、下段はシャープです。ダイアグラムにはアルファベットが表示されますが、`[ダイアグラムとして表示]`を選択すると標準的なハープペダルダイアグラムが表示されます。ブロックの位置はペダルの位置を示しており、D、C、Bは左足、E、F、G、Aは右足で操作します。Notionでは設定されたペダルに従ってハープグリッドサウンドが再生されます。
 - ハープペダルのヘルプ: ハープのパートにハープダイアグラムの後に赤の音符がある場合、これは追加のペダル変更が必要であることを示しています。ハープペダルツールを有効にした状態で赤の音符をクリックするとペダルダイアログが開き、提案された解決策が自動で記譜されます。ハープダイアグラム自体が赤くなっている場合、これは奏者がペダルを踏み替えるのに書かれているよりも長い時間が必要であることを示しています。ダイアグラムを早めに動かすか、パッセージを書き直してください。

こちらから[クイックスタートチュートリアル](#)をご覧ください。



再生



Notion Mobileには独自のサンプルライブラリが付属しています。NotionがNotionのためにロンドン交響楽団とともにアビーロードスタジオで録音したものです。

- [サウンド一覧](#)。
- [こちらからクイックスタートチュートリアル](#)をご覧ください。

Notion MobileはNotion Desktopで使用可能な楽器を利用できますが、モバイルデバイスの容量を圧迫しないよう、より小さなサイズのライブラリになっています。Notion Desktopは、Notion Mobileに含まれるダイナミックレイヤー、アーティキュレーション、テクニックのサブセットをすべて搭載しています。

ご使用のデバイスに特定のサウンドセットがインストールされていない場合、Notionはスタインウェイグランドピアノで指定の楽器の音を再生します。これなら、すべてのデバイスにフルライブラリをインストールしなくても、外出先で作曲できます。たとえば、写真やビデオ用に容量を確保するために、携帯電話にはピアノだけを残し、フルライブラリはタブレットに置いておくことも可能です。

スコアを再生するには、再生したい場所にカーソルを置いて**再生**ボタンを押すか、キーボードショートカットの**スペースキー**を使用します。青のカーソル位置から再生が始まります。停止するには、もう一度同じボタンをタップします。

前回再生を開始した場所に戻るには、再生中または停止中に**早戻し**ボタンをタップします。スコアの先頭に戻る(**ゼロに戻る**)には、**早戻し**ボタンを2回タップするか、キーボードショートカットの**0**を使用します。

再生中のスコアのスクロールを止めるには、**再生**ボタンを押してからスコアを手動でドラッグします。

一部のインストゥルメントのみを聞きたい場合、ミキサー内で手動でミュートまたはソロを設定するか、スコア内で選択範囲を指定するかすれば、選択範囲内のインストゥルメントと音符のみが再生されます。

再生時のメトロノームのオンとオフを切り替えるには、アプリケーションメニュー> **録音設定**> **メトロノーム**を開きます。

コード記号の再生

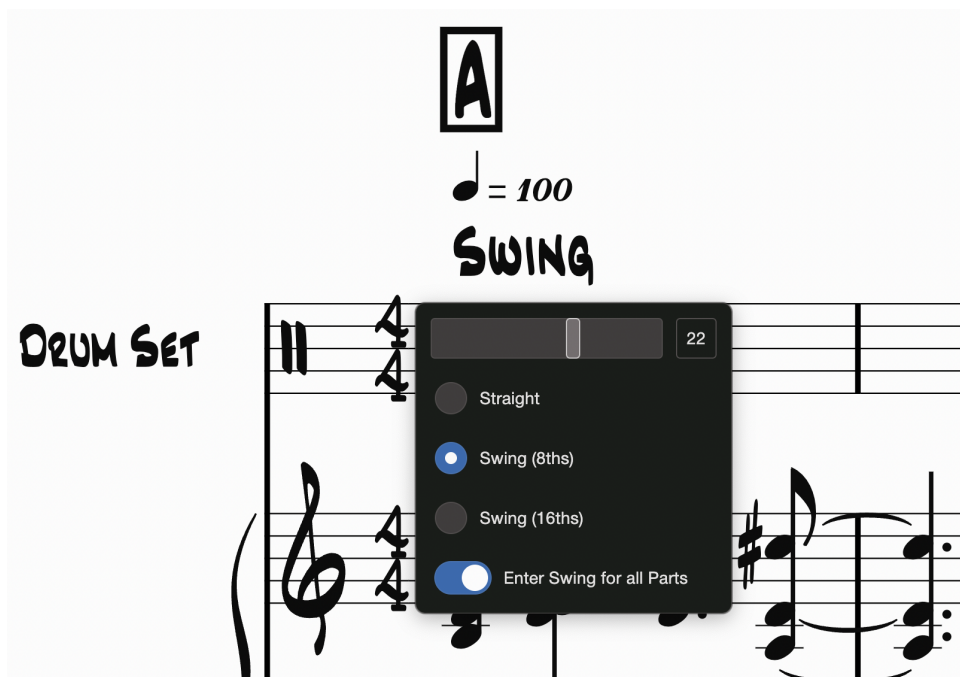
リズムスラッシュの上に置かれたコード記号は、再生時にそのリズムにしたがって鳴ります。スラッシュにアーティキュレーション、タイ、強弱記号を追加して効果を加えることもできます。

再生コードの再生を止めるには、選択してから **タッチットに設定** を選択します(下参照)。

タッチットに設定

選択してからコンテキストメニューを開き、音符 > **タッチットに設定** を選択します。音符は灰色で表示され、再生やオーディオへのエクスポートはできなくなります。(音符は黒で正常に印刷されます。)

スウィング

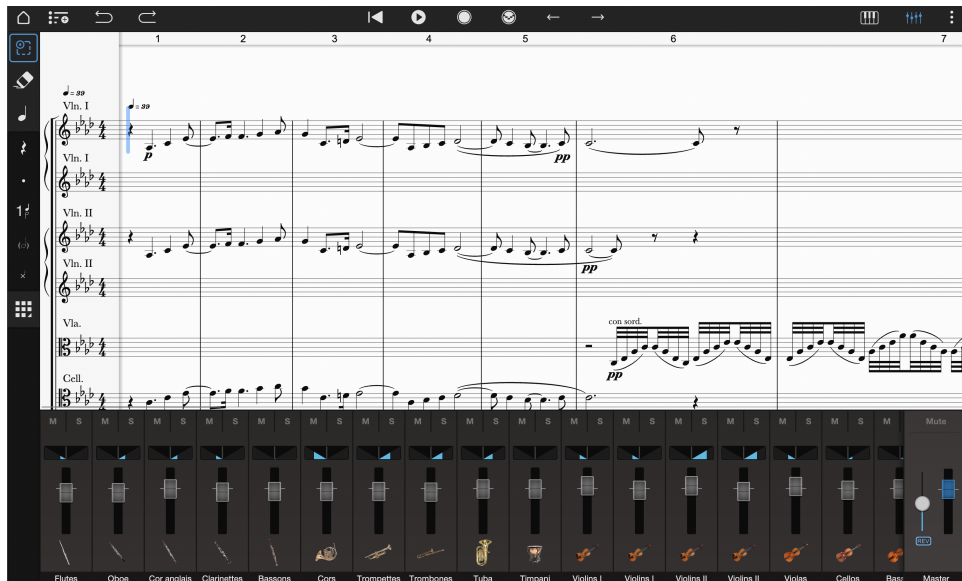


スウィングスタイルで再生するよう選択できます。8分音符や16分音符が3連符でスウィングします。ツールグリッドを開き、メトロノームマークのパレットを選択すると、その下にスウィングツールのアイコン(4分音符の「影」)が表示されます。キーボードショートカットは**Shift+S**です。

スコアのスウィングを開始させたい箇所をタップします。スウィングダイアログが開きます。8分音符と16分音符のどちらをスウィングさせるか、スウィングをすべての五線に適用するか、スウィングマークを付ける五線だけに適用するかを選択できます。スウィングの大きさを調整できます。直線が中央値(値0)です。

- スウィング再生をキャンセルするには、ダイアログで **ストレート** を選択します。
- 既存のスウィングマークを調整するには、1回タップしてスウィングコントロールレベルにすばやくアクセスするか、2回タップしてスウィングツールダイアログを再び開きます。

ミキサー



ミキサーを開くには、画面右上のミキサーアイコンをタップするか、キーボードショートカット **Ctrl/Cmd+M** を使用します。

ミキサーの右側には、全体のボリューム、リバーブコントロール、グローバルミュートボタンを備えたマスターチャンネルが表示されます。

スコアに追加した各インストゥルメントには、マスターチャンネルの左に独立したチャンネルが用意されます。大きなスコアの場合、ミキサーを左右にスワイプしてすべてのインストゥルメントを表示できますが、マスターチャンネルは常に右側の一番上に表示されます。

チャンネルコントロール:

- ソロまたはミュート
- インストゥルメントのパンニングを調整して、左右のサウンドを調整します。
- インストゥルメントのボリューム

さらに、エレキギターには、再生時の歪みの量に影響を与えるドライブコントロールも搭載しています。

パンやボリュームの値を微調整するには、キーボードを接続している場合はShiftキーを押しながらドラッグします。

オーディオデバイス

WindowsまたはmacOSでNotion Mobileを使用する場合、再生に使用するオーディオデバイスを手動で選択できます。アプリケーションメニュー > [オーディオ設定] で使用するオーディオデバイスを選択します。

その他のデバイスやプラットフォームでは、Notion Mobileはデフォルトのオーディオデバイスに従います。

スコアの保存、印刷、エクスポート

Notion Mobileでは、スコアをさまざまなフォーマットで印刷、共有、エクスポート、送信できます。

保存

Notionでは作曲の進捗状況が自動保存されるので、問題が生じた場合にも作品を復元できます。その他の保存オプションはアプリケーションメニューにあります。

- 保存
 - このオプションを使用することで、いつでも手動で保存できます。キーボードショートカット **Ctrl/Cmd+S**を使用することもできます。
- 別名で保存
 - このオプションでは、ドキュメントのコピーを作成し、元のドキュメントを保存したままコピーを使用して作業を続けることができます。キーボードショートカット **Ctrl/Cmd+Shift+S**を使用することもできます。これは、下のエクスポート機能とは異なります。エクスポート機能では、コピーは作成されますが、元のドキュメントは開いたままです。

印刷

印刷するには、アプリケーションメニューから [印刷] を選択します。キーボードショートカットは **Ctrl/Cmd+P** です。これで、システムの印刷ダイアログが表示されます。

エクスポート

エクスポートするには、アプリケーションメニューから [スコアをエクスポート] を選択します。ファイル名フィールドでエクスポートされるドキュメントの名前を変更することも、元の文書の名前を維持することもできます。

それ以上のアクションは次のとおりです。

- **ファイルを保存**: 任意の場所に必要なフォーマットでエクスポートします。
- **共有 ...:** (モバイルデバイスのみ) オペレーティングシステムが提供する [共有] メニューが表示されます。これにより、クラウドプロバイダーへの保存、メールやソーシャルメディアを介した送信、対応する他のアプリへの送信が可能になります。
- **テンプレートとして保存**: スコアが現在の形式でNotionテンプレートとして保存され、新規スコアダイアログのテンプレートリストから選択できるようになります。
- **転送**: Feature Bundleの一部で、Notion Mobile, Notion Desktop, and Studio One Professionalを含むPreSonusアプリケーションを実行する同一ネットワーク内の任意のデバイスに直接転送できます。アンロック後、各アプリケーションでネットワーク転送を許可してください。Notion Mobileでは、アプリケーションメニュー> [オプション]> [ネットワーク]> [ドキュメントの受信を許可] を選択します。

選択可能なエクスポート形式は、上記のアクション選択により異なります。

- **スコア**
 - Notionファイル
 - MusicXMLファイル
 - 圧縮MusicXMLファイル(.mxl)
 - MIDIファイル
 - PDFファイル
 - フルスコア
 - 全パートを含む単一のPDF
 - フルスコアと全パートを含む単一のPDF
- **オーディオ**
 - WAV
 - Mp3
 - Feature Bundleで利用可能となるオーディオフォーマット:
 - FLAC
 - Opus

- M4a

各オーディオフォーマットには、ビットレート、解像度、サンプルレート、圧縮など、選択したフォーマットに関連するエクスポートオプションがさらに表示されます。

キーボードショートカット

Notion Mobileではクロスプラットフォームのキーボードショートカットが用意されています。

- 1~9の数字は、音価(デュレーション)だけでなく、選択されているツールのオプションを直接選択するにも使用できます。
 - Cを入力して音部記号を選択し、2を入力してへ音記号を入力します。
 - <を入力してへアピンを選択し、4を入力してdecreasc...を入力します。
- Escを押すと選択ツールに戻り、カーソルが消去されます。
- 過去のNotionの音価ショートカット(8分音符のEなど)は、アプリケーションメニュー> [オプション]> [編集]> [デュレーションの文字]を選択します。
- Macの場合、以下のショートカットのうち、CtrlをCmdに、OptをAltに置き換えてください。

キーボードショートカット - デュレーション		
デフォルト	代替 ([オプション]> デュレーションの文字)	デュレーション (休符はトグルキー)
1		倍全音符/休符
2	w	全音符/休符
3	h	2分音符/休符
4	q	4分音符/休符
5	e	8分音符/休符
6	s	16分音符/休符
7	t	32分音符/休符
8		64分音符/休符
9		128分音符/休符
.		付点/複付点
T	Alt + t	タイ
Alt + 2-9		連符を入力
Alt + 1		連符の入力をクリア

キーボードショートカット - すべて	
Esc	選択ツール
1-9	ツールオプション (音符/休符のデュレーション(長から短)を含む)

Alt + 左/右カーソル	前/次のツールを選択
A	アルペジオ
B	フラットを切り替え
C	音部記号
D	複製
E(デュレーション文字を使用する場合 Alt + E)	異名同音
F	フォルテを切り替え
G	装飾音符/ゴーストノートを切り替え
H(デュレーション文字を使用する場合 Alt + H)	トレモロ(スラッシュ)
I	小節線
J	テンポツール
K	調号
L	歌詞
M	拍子記号
O	オクターブ
P	ピアノを切り替え
R	テンポ変更
S(デュレーション文字を使用する場合 Alt + S)	スラー
T(デュレーション文字を使用する場合 Alt + T)	タイ
W(デュレーション文字を使用する場合 Alt + W)	運指
X	符頭を切り替え
Shift + B	連桁ツール
Shift + C	コード
Shift + D	休止
Shift + F	メゾフォルテ
Shift + G	ベンド
Shift + H	トレモロ(連桁)

Shift + I	楽器変更
Shift + J	ジャンプ記号
Shift + K	テキストボックス
Shift + L	グリッサンドとポルタメント
Shift + M	メトロノーム
Shift + N	ギターテクニック
Shift + O	弦楽器奏法
Shift + P	メゾピアノ
Shift + Q	ブラッキング
Shift + R	リハーサルマーク
Shift + S	スウィング
Shift + T	トリル
Shift + U	ジャズバンド
Shift + V	ビブラート
Shift + W	ワームバー
Shift + X	五線をまたぐ
Shift + Y	スライド
Shift + Z	アルコとピチカート
Ctrl + A	すべてを選択
Ctrl + Shift + A	パートを選択
Ctrl + B	最後のコードをリピート (ステップ入力で)
Ctrl + C	コピー
Ctrl + D	すべての選択を解除
Ctrl + E	エクスポート
Ctrl + Shift + F	添付をフリップ
Ctrl + G	スコアセット アップ
Ctrl + H	ハープダイアグラム

Ctrl + L	レイアウト/表示メニュー
Ctrl + Shift + L	レイアウトハンドルを表示
Ctrl + M	ミキサー
Ctrl + N	新規
Ctrl + O	開く
Ctrl + P	印刷
Ctrl + Q	終了
Ctrl + R	ステップ録音
Ctrl + Shift + R	リアルタイム録音
Ctrl + S	保存
Ctrl + Shift + S	別名で保存
Ctrl + T	連符を作成
Ctrl + V	ペースト
Ctrl + Shift + V	ペーストして挿入
Ctrl + W	閉じる
Ctrl + X	カット
Ctrl + Y / Ctrl + Shift + Z	やり直す
Ctrl + Z	取り消す
0	ナチュラル
#	シャープ
-	テヌート
^	アクセント
.	付点/複付点
<	クレッシェンド
>	ディミヌエンド
Ctrl + 1	声部1
Ctrl + 2	声部2

Ctrl + 3	声部3
Ctrl + 4	声部4
Ctrl + .	選択されている音符に付点を追加
Del	削除
Backspace	削除
Shift + Backspace	音符と休符を切り替え
カーソル矢印	音符単位で移動
Ctrl + Backspace	アーティキュレーションを消去
Ctrl + カーソル矢印	小節単位で移動
音符を選択してカーソル上/下	全音単位で音符を移調
音符を選択してCtrl + カーソル上/下	半音単位で音符を移調
音符を選択してShift + カーソル上/下	オクターブ単位で音符を移調
Alt + 音符を上/下にドラッグ	臨時記号のみ変更
Alt + Home (またはAlt + Fn + 左矢印)	ホームページ
Ctrl + +	ズームイン
Ctrl + -	ズームアウト
F5	スコアと選択されているパートを切り替え
F6	連続表示
F7	ページ表示を切り替え
F8	画面表示
Space	開始/停止
,	ゼロに戻る
:	反復終了
%	小節反復を切り替え
*	ペダル記号を切り替え

サウンド一覧

Notion Mobileのサウンドライブラリは、Notionのためだけにロンドン交響楽団がアビーロードスタジオで録音したもので、スタインウェイピアノとクラシックギターもそこでサンプリングされています。その他のギターやドラムのサンプルは、グラミー賞受賞アーティストが米国内のスタジオで録音したものです。パイプオルガンと聖歌隊のサウンドはSoundironからライセンス供与されています。

主要サウンドセットとウェルカムパックは、[サウンドのインストール]メニューから無償でダウンロードできます。アドオンサウンドセットは、Feature Bundleの一部として提供されます(アプリ内課金または有効なStudio One+メンバーシップでログインすることでアンロック可能)。詳しくは[こちらからクイックスタートチュートリアルをご覧ください](#)。の章をご参照ください。

サウンドセット名/内容

内蔵

- グランドピアノ(スタインウェイ)

ウェルカムパック - 製品登録で無料ダウンロード可能

- ソロバイオリン(1698年、アントニオ・ストラディバリ)
- ソロビオラ(16世紀、アントニオ・ブレント)
- ソロチェロ(1710年頃、マテオ・ゴフリラー)
- ソロバス(1840年代、トーマス・ケネディ)
- アルトサクソ(セルマー)
- テナーサクソ(セルマー)
- グロックンシュピール(ベルジュロ)

主要弦楽器(無料)

- **バイオリン I & バイオリン II**(内容:1698年アントニオ・ストラディバリ、1701年ヨハネス・トノーニ、1708年ダニエル・パーカー、1725年アントニオ・マリア・ラヴァッツァ、1725年スピリト・ウス・サルサナ、1730年パウロ・アントニオ・テストーレ、1736年ガアルネリ、1764年リチャード・デューク、18世紀ジャン=バティスト・ヴィヨーム、1907ピエール・エル、2003アレグザンダー・ツァンコー)
- **ビオラ**(内容:1876年ブルーランジェ、1823年マシュー・ハーディ、1880年代ジョセフ・ヒル(「ジョセフ・ヒル」の孫)、1998年ジョン・ディルワース、1912年アントニオ・アッツィ・ロメオ、1756年北伊楽器、1975年アントニオ・カペラ、1900年ニコラス・マルスイ-オルレアン、16世紀末アントニオ・ブレント)
- **チェロ**(内容:1899年ブリッグス、1793年セリアナティス、1821年トーマス・ケネディ - ロンドン、1804年ウィリアム・フォスター、1822年ギルクス、2000年ロバート・ハッセル、1710頃マテオ・ゴフリラー)
- **バス**(内容:1840年代トーマス・ケネディ、1770年フォスター、1870年ショー、1839年トーマス・ケネディ、1850年ヴィヨーム、1765年ロレンツォ・カルカッソ)

主要管楽器(無料)

- ピッコロ(ゼントナーブラックウッド)
- フルート(ヤマハ)
- オーボエ(ハワース)
- コーラングレ(ハワース)
- クラリネット(ビュッフェRCプレステージ)
- バスクラリネット(ビュッフェ)
- ファゴット(ヘッケル)
- コントラファゴット(モーレンハウエル)
- ホルン(パックスマン)
- トランペット(ヤマハXeno)
- トロンボーン(コーン)

- バストロンボーン(キング)
- チューバ(ベツソンソヴリン)

主要リズム/パーカッション(無料)

- アコースティックギター
- エレキベース
- エレキギター
- ドラムセット
- タンブリン
- スネアドラム(ラディック)
- サスペンドシンバル(ジルジャン)
- クラッシュシンバル(ジルジャン)
- バスドラム(B+H)
- ティンパニ
- シロフォン(アダムス)
- コーラス(Soundiron Olympus Choir Micro)
- ハープ(ホルンガツハ)

セクションサウンド(アドオン)

- ファゴット デュオ
- クラリネット デュオ
- クラリネット セクション
- フルート デュオ(パウエル/ヤマハ)
- フルート セクション
- オーボエデュオ
- ホルンセクション
- トロンボーンセクション(コーン/キング)
- トランペット セクション

管楽器(アドオン)

- Ebクラリネット(ビュッフエ+ガラスマウスピース)
- アルトフルート(ヤマハ)
- バスフルート
- コントラバスクラリネット
- バセットホルン
- オーボエダモーレ
- バスオーボエ
- バリトンサククス(セルマー)
- ソプラニーノサククス(セルマー)
- ソプラノサククス(セルマー)
- コントラバスサククス(チューバックス)
- ユーフォニアム(ベツソン)
- ピッコロランペット
- バストランペット

- ソプラノトランペット
- フリューゲルホルン
- コルネット
- ワグナーチューバ
- アルトトロンボーン

ジャズ木管楽器(アドオン)

- ジャズアルトサククス(セルマー)
- ジャズバリトンサククス
- ジャズクラリネット
- ジャズソプラノサククス
- ジャズテナーサククス(セルマー)

ジャズ金管楽器(アドオン)

- ジャズトランペット1
- ジャズトランペット2
- ジャズバストロンボーン
- ジャズテナートロンボーン

キーボード+その他のギター(アドオン)

- エレクトリックピアノ
- クラビネット
- テクノシンセ
- オルガン(Soundiron Lakeside Organ)
- セレステ(シードマイヤー)
- ハープシコード(ロバート・ゴープル&サン、1972年)
- バンジョー
- クラシックギター(グレッグ・スモールマン)
- マンドリン
- アップライトベース
- ウクレレ(コリングス)

パーカッション(アドオン)

- **サウンドエフェクトバンドル**(ウィップ、カッコウブエ、ラチェット、サイレン、クラクション、レフリーホイッスル、サイレン、ホイッスル、シヤンパー、ニューボトル、ダックコール、ハンドクラップ、ウインドマシン、レインスティック、チャーチベル、サンダーシート)
- **パーカッションバンドル**(テンブルブロック、ワイングラス、ハンドベル、コンサートタム、ソー、アルムグロックン、ナイチンゲールホイッスル、ライオンズローア、パウロン、フレクサトーン、スライドホイッスル、シズルシンバル、ギロ、カバサ、タムタム、マラカス、カスタネット、カシシ、ガンザ、ドラムスティック、プレーキドラム、チャイニーズシンバル、フィンガーシンバル、ベルツリー、ハンマー、ビブラスラップ、フラワーポット、クイーカ、ログドラム、アゴゴ、ビブラスティック、リードパイプ、オーシャンドラム、トレインホイッスル、ウォーターゴング、テナードラム、ピッコロスネア、アンビル、サンドブロック、サイドドラム)
- クロタレス
- マリンバ(アダムス5oct)
- ロートタム
- チューブラーベルズ(/チャイム)(マッサー)
- チューンドゴング
- ビブラフォン(マッサー)

- クラベス
- カウベル
- ゴング(パイステ)
- スレイベル
- スプラッシュシンバル
- トライアングル
- ウッドブロック
- ボンゴ

Acknowledgements

License information for third-party software used :

- Skia Graphics Library (macOS only)
- libpng
- zlib
- Expat XML Parser
- Perl Compatible Regular Expressions (PCRE)
- Ogg Vorbis libogg
- Ogg Vorbis libvorbis
- Opus Audio Codec
- opusfile Library
- FLAC Free Lossless Audio Codec
- LAME MP3 Encoder
- mpg123 MP3 Decoder
- libsamplerate
- MP4v2 Library
- WavPack Codec
- Apple Lossless Audio Codec (Windows and Android only)
- FDK-AAC Library (Android only)
- Oboe Audio Library (Android only)
- MyScript Handwriting Recognition Technology
- Nimbus Sans Novus Font
- Libre Baskerville Font

Skia Graphics Library

Copyright (c) 2011 Google Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

PNG Reference Library License version 2

- Copyright (c) 1995-2019 The PNG Reference Library Authors.
- Copyright (c) 2018-2019 Cosmin Truta.

- Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2018 Glenn Randers-Pehrson.
- Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger.
- Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

The software is supplied "as is", without warranty of any kind, express or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title, and non-infringement. In no event shall the Copyright owners, or anyone distributing the software, be liable for any damages or other liability, whether in contract, tort or otherwise, arising from, out of, or in connection with the software, or the use or other dealings in the software, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated, but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

zlib

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.12, March 27th, 2022

Copyright (C) 1995-2022 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler

jloup@gzip.orgmadler@alumni.caltech.edu

Expat XML Parser

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

PCRE LICENCE

PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language.

Release 8 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.

The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel

Email local part: ph10

Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service,
Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2010 University of Cambridge

All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2007-2010, Google Inc.

All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Ogg Vorbis

FLAC Free Lossless Audio Codec

libogg

libvorbis

Copyright (c) 2002-2020 Xiph.org Foundation

- Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Opus Audio Codec and opusfile Library

Copyright © 2011-2017

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the names of specific contributors, may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LAME MP3 Encoder - lame.sourceforge.net

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it.

By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it.

You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price.

Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you.

You must make sure that they, too, receive or can get the source code.

If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it.

And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library.

If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents.

We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software.

To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs.

This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries.

This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it.

Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program.

However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries.

We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves.

This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them.

(We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License").

Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms.

A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language.

(Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it.

For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope.

The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).

Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application.

Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole.

If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works.

But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library.

To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License.

(If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.)

Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library".

Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library".

The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library.

The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work.

(Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

You must supply a copy of this License.

If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License.

Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library.

(It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it.

However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system.

Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities.

This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License.

Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it.

However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works.

These actions are prohibited by law if you do not accept this License.

Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions.

You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.

If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices.

Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded.

In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number.

If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation.

If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission.

For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this.

Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

mpg123 MP3 Decoder - www.mpg123.de

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed. [This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it.

By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it.

You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price.

Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights.

These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you.

You must make sure that they, too, receive or can get the source code.

If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it.

And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library.

Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program.

We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder.

Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License.

This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License.

We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library.

The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom.

The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License.

It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs.

These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries.

However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard.

To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library.

A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software.

For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library".

The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms.

A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language.

(Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it.

For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope.

The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).

Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application.

Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole.

If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works.

But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library.

To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License.

(If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.)

Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library".

Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library".

The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library.

The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work.

(Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

You must supply a copy of this License.

If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License.

Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library.

(It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library.

A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it.

However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system.

Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities.

This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it.

However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.

If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices.

Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice. This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

libsamplerate

Copyright (c) 2012-2016, Erik de Castro Lopo <erikd@mega-nerd.com>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MOZILLA PUBLIC LICENSE

Version 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is: A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for

making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2.1. The Initial Developer Grant.

The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code;

or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.

Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and (b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You

may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters (a) Third Party Claims. If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs. If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations. Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code.

If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A.

You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation. If it is impossible for You to comply with any of the terms of this

License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be

included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1.

This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY. UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY

INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the MPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A. EXHIBIT A - Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <https://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is MPEG4IP.

The Initial Developer of the Original Code is Cisco Systems Inc.

Portions created by Cisco Systems Inc are

Copyright (C) Cisco Systems Inc. 2001. All Rights Reserved.

MP4v2 Library

Copyright (c) 1998 - 2022 David Bryant

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. Neither the name of Conifer Software nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR

TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apple Lossless Audio Codec (ALAC)

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document. "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types. "Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display

generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License. You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

FDK-AAC Library

Software License for The Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android

© Copyright 1995 - 2018 Fraunhofer-Gesellschaft zur Förderung der angewandten Forschung e.V. All rights reserved.

1. INTRODUCTION

The Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android ("FDK AAC Codec") is software that implements the MPEG Advanced Audio Coding ("AAC") encoding and decoding scheme for digital audio. This FDK AAC Codec software is intended to be used on a wide variety of Android devices.

AAC's HE-AAC and HE-AAC v2 versions are regarded as today's most efficient general perceptual audio codecs. AAC-ELD is considered the best-performing full-bandwidth communications codec by independent studies and is widely deployed. AAC has been standardized by ISO and IEC as part of the MPEG specifications.

Patent licenses for necessary patent claims for the FDK AAC Codec (including those of Fraunhofer) may be obtained through Via Licensing (www.vialicensing.com) or through the respective patent owners individually for the purpose of encoding or decoding bit streams in products that are compliant with the ISO/IEC MPEG audio standards. Please note that most manufacturers of Android devices already license these patent claims through Via Licensing or directly from the patent owners, and therefore FDK AAC Codec software may already be covered under those patent licenses when it is used for those licensed purposes only.

Commercially-licensed AAC software libraries, including floating-point versions

with enhanced sound quality, are also available from Fraunhofer. Users are encouraged to check the Fraunhofer website for additional applications

information and documentation.

2. COPYRIGHT LICENSE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted without payment of copyright license fees provided that you satisfy the following conditions: You must retain the complete text of this software license in redistributions of the FDK AAC Codec or your modifications thereto in source code form.

You must retain the complete text of this software license in the documentation and/or other materials provided with redistributions of the FDK AAC Codec or your modifications thereto in binary form. You must make available free of charge copies of the complete source code of the FDK AAC Codec and your modifications thereto to recipients of copies in binary form.

The name of Fraunhofer may not be used to endorse or promote products derived from this library without prior written permission.

You may not charge copyright license fees for anyone to use, copy or distribute the FDK AAC Codec software or your modifications thereto.

Your modified versions of the FDK AAC Codec must carry prominent notices stating that you changed the software and the date of any change. For modified versions of the FDK AAC Codec, the term "Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android" must be replaced by the term "Third-Party Modified Version of the Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android."

3. NO PATENT LICENSE

NO EXPRESS OR IMPLIED LICENSES TO ANY PATENT CLAIMS, including without limitation the patents of Fraunhofer, ARE GRANTED BY THIS SOFTWARE LICENSE. Fraunhofer provides no warranty of patent non-infringement with respect to this software.

You may use this FDK AAC Codec software or modifications thereto only for purposes that are authorized by appropriate patent licenses.

4. DISCLAIMER

This FDK AAC Codec software is provided by Fraunhofer on behalf of the copyright holders and contributors "AS IS" and WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, including but not limited to the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, including but not limited to procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits, or business interruption, however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence), arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

5. CONTACT INFORMATION

Fraunhofer Institute for Integrated Circuits IIS

Attention: Audio and Multimedia Departments - FDK AAC LL

Am Wolfsmantel 33

91058 Erlangen, Germany

www.iis.fraunhofer.de/amm

amm-info@iis.fraunhofer.de

Oboe Audio Library

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License

or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

MyScript Handwriting Recognition Technology

© 2014 MyScript. All Rights Reserved. MyScript is trademark of MyScript, registered in the US and in other countries

Nimbus Sans Novus Font

The font and related files in this directory are distributed under the GNU AFFERO GENERAL PUBLIC LICENSE Version 3 (see the file COPYING), with the following exemption:

As a special exception, permission is granted to include these font programs in a Postscript or PDF file that consists of a document that contains text to be displayed or printed using this font, regardless of the conditions or license applying to the document itself.

Libre Baskerville Font

Copyright (c) 2012, Pablo Impallari (www.impallari.com | impallari@gmail.com),

Copyright (c) 2012, Rodrigo Fuenzalida (www.rfuenzalida.com | hello@rfuenzalida.com), with Reserved Font Name Libre Baskerville.

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:

<http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

End

